

令和5年度 赤磐市社会福祉協議会事業報告書

I. 地域福祉課

1. 地域福祉推進事業

(1) 地区社協設置促進事業

重点事業

① 地区社協設置促進協力員設置事業

地区社協設置促進協力員（山陽2名、熊山1名）に地区社協設置に向けての助言や説明会等へ参加協力をいただきました。

② 地区社協設置促進計画

地区社協設置に向けて未設置地区の生活・福祉課題を把握しながら、地区社協設置促進協力員とともにアプローチ方法について検討を行い、計画を立てて推進を図りました。

③ 地区社協説明会の開催

市補助事業（一部）

<高陽川西地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
8月27日（日）	高陽川西地域懇談会 （民生委員児童委員主催）	・地域福祉活動の情報共有	あかいほほえみプラザ	19人
3月15日（金）			カフェドグラス	5人

<高陽川東地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
8月22日（火）	高陽川東地域懇談会 （民生委員児童委員主催）	・地域福祉活動の情報共有	あかいほほえみプラザ	15人

<高陽島中地区>（高屋・上市・正崎）

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
6月20日（火）	地区福祉活動情報交換会	・各地区福祉活動の情報交換	高屋集会所	9人
12月22日（火）				8人

<西山地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
5月16日（火）	西山地域懇談会 （民生委員児童委員主催）	・各地区福祉活動の情報交換	中央公民館	12人
3月19日（火）			西山団地コミュニティハウス	11人

<桜が丘西地区> ※支え合いの地域づくりワークショップとして開催

<可真地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
8月8日（火）	区長説明会	・地区社協概要説明 ・設立スケジュール	ほほえみ	8人

<小野田地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
11月9日（木）	区長説明会	・地区社協概要説明 ・組織図について	ほほえみ	8人

<豊田・熊山地区> ※実施なし

④ ワークショップ・セミナー等の開催

- ・支え合いの地域づくりワークショップの開催（桜が丘西地区福祉活動情報交換会） **市受託事業**
 (第1回)

月 日	令和5年10月12日(木)
場 所	桜が丘いきいき交流センター
内 容	①令和5年度 各委員・団体の活動状況 ②活動における成果と課題・新たなアプローチ
参加者数	5人

(第2回)

月 日	令和5年3月19日(火)
場 所	桜が丘いきいき交流センター
内 容	①前回の振り返り ②地域ニーズ(聞き取り)内容について ③必要とされる通いの場について ④今後の動きについて
参加者数	6人

⑤ 設立準備会の開催支援

市補助事業(一部)

<高陽島中地区> (高屋・上市・正崎)

月 日	会議名	内 容	場 所	出席者
1月24日(水)	地区社協設置準備会	・地区社協概要説明 ・設立スケジュール等	高屋集会所	8人

<可真地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
12月3日(日)	可真地区社協準備会	・組織図・規約について ・事業計画・予算書(案) について他	ほほえみ	11人

<小野田地区>

月 日	会 議 名	内 容	場 所	出席者
2月8日(木)	小野田地区社協準備会	・地区社協について ・組織図・規約(案)について	熊山英国庭園	10人

(2) 地区社協活動支援事業

① 地区担当職員の配置

福祉圏域ごとに担当職員を配置し、オブザーバーとして活動支援を行いました。

② 情報交換会の開催(地区社協代表者会議/地区社協交流会)

月 日	会議名	内 容	場 所	出席者
1月30日(火)	地区社協交流会	・活動紹介 ①「新見市における地区社協活動について」 紹介者：新見市社会福祉協議会 地域福祉推進課 係長・大佐支所長 林 和美氏 ②「上市地区 お話訪問活動」 発表者：上市地区社会福祉協議会 会長 宮本 幸子氏 ・情報交換	あかいわほほえみプラザ	15人

月 日	会議名	内 容	場 所	出席者
3月21日(木)	吉井地域地区社協代表者会議	・令和5年度各地区社協活動報告 ・令和6年度地区社協助成金 ・情報交換 他	吉井会館	5人

③ 助成金の交付

市補助事業(一部)

地区社会福祉協議会助成金交付要綱より12の地区社協に対して助成を行いました。

- ・両宮地域ぐるみ活動協議会
 - ・石相地区社会福祉協議会
 - ・可真地区社会福祉協議会
 - ・山方地区社会福祉推進協議会
 - ・とりなかむら
 - ・軽部地区社会福祉協議会
 - ・桜が丘東地区社会福祉協議会
 - ・仁堀地区社会福祉推進協議会
 - ・山陽地区社会福祉協議会
 - ・笹岡地区社会福祉協議会
 - ・周匝地区社会福祉推進協議会
 - ・布都美地区社会福祉推進協議会
- *佐伯北地区社会福祉推進協議会は令和5年度は未申請

・地区社協活動状況

<両宮地域ぐるみ活動協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
5月14日(日)	総会 話し合い活動「今後の事業内容と方向性について」	高月公民館	34人
7月1日(土)	第1回役員会		13人
7月4日(火)	夏祭り打合せ		10人
7月8日(土)			15人
7月11日(火)	安全講話打合せ		赤磐市役所他
7月20日(木)	夏休みこどもラジオ体操・健康教室(骨密度測定)	高月公民館	80人
7月29日(土)	読み聞かせ・ランタンづくり		42人
7月30日(日)	子ども将棋教室		13人
8月6日(日)	作品展・夏祭り		150人
8月20日(日)	子ども将棋教室		13人
12月2日(土)	役員・代表委員会		13人
3月16日(土)	第2回役員会		12人
3月21日(木)	防災講座 ※高月公民館共催		21人

<とりなかむら>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月12日(水)	総会 話し合い活動「見守り活動・学習活動について」	津崎コミュニティハウス	9人
5月10日(水)	話し合い活動「とりなかむら版緊急連絡カードの作成配布について」		14人
6月28日(土)	話し合い活動「学習活動・ふれあい活動について」 「とりなかむら版(緊急連絡カードの作成について)」 調査・広報活動「とりなかむら通信 vol.5 企画編集協議」		7人
8月30日(水)	話し合い活動「ペタンクの広報・普及について」 「とりなかむら版緊急連絡カードの作成について」他		7人
9月23日(土)	学習 「エコプラザあかいわ見学」	エコプラザあかいわ	13人
10月25日(水)	話し合い活動「とりなかむら版緊急連絡カードの作成配布について」 調査・広報活動「とりなかむら通信 vol.6 企画編集協議」	津崎コミュニティハウス	6人
11月13日(月)	話し合い活動「とりなかむら版緊急連絡カードの作成配布について」		7人
12月13日(水)	話し合い活動「ペタンクの広報協力について」 「とりなかむら版緊急連絡カードの作成について」他		5人
1月18日(木)	話し合い活動「とりなかむら版緊急連絡カードの作成について」 「消防署見学について」		7人
2月28日(水)	話し合い活動「とりなかむら版(緊急連絡カード「まもるくんカード」の作成)について」		12人
3月30日(土)	話し合い活動「とりなかむら版(緊急連絡カード「まもるくんカード」の作成)について」		7人

<山陽地区社会福祉協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
5月27日(土)	第1回役員会	山陽公民館	12人
6月24日(土)	第2回役員会		12人
7月5日(水)	第1回さんさんカフェ	山陽7丁目集会所	40人
8月26日(土)	第3回役員会	山陽公民館	12人
9月7日(木)	第2回さんさんカフェ	山陽6丁目集会所	30人
10月	認知症講演会チラシ発刊	-	-
11月2日(木)	高齢者対象交通安全講習会(山陽公民館との共催)	山陽公民館	23人
11月11日(土)	第4回役員会		10人
11月13日(月)	認知症を考える講演会	山陽総合福祉センター	33人
11月	地区社協活動紹介チラシ配布	-	-
12月7日(木)	第3回さんさんカフェ	山陽3丁目集会所	49人
1月20日(土)	第5回役員会	山陽公民館	10人
3月9日(土)	第6回役員会		10人
3月	地区社協だより(No.7)発行	-	-

<石相地区社会福祉協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月22日(土)	第1回運営委員会	赤坂健康管理センター	18人
5月20日(土)	総会		30人
6月16日(金)	第1回役員会	春の家ダイルーム	8人
7月29日(土)	第2回運営委員会	赤坂健康管理センター	14人
9月6日(金)	第3回役員会	春の家ダイルーム	9人
9月23日(土)	防災研修会	赤坂健康管理センター	22人
11月1日(水)	第4回役員会	春の家ダイルーム	7人
1月	地区社協だより発刊	-	-
1月13日(土)	学習活動「赤坂デマンド型市民バス勉強会」 第3回運営委員会	赤坂健康管理センター	40人
3月13日(土)	監査・第4回役員会	春の家ダイルーム	7人

<軽部地区社会福祉協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月14日(金)	第1回役員会	春の家ボランティアルーム	8人
4月21日(金)	第1回区長部会		8人
5月21日(日)	総会・各部会	赤坂健康管理センター	31人
	第2回役員会		9人
6月2日(金)	第3回役員会「総会の振り返り」「推進委員について」 「地区社協だよりについて」	春の家ボランティアルーム	9人
6月9日(金)	第1回推進委員会	赤坂健康管理センター	17人
6月30日(金)	第4回役員会	春の家ボランティアルーム	10人
8月18日(金)	第5回役員会		8人
9月3日(日)	2023 軽部地区ふれあいの集い	赤坂健康管理センター	62人
9月28日(木)	第6回役員会兼区長部会	春の家ダイルーム	11人
10月	調査・広報 地区社協だより発刊	-	-
11月25日(土)	赤坂デマンド型市民バス勉強会	赤坂健康管理センター	20人
1月26日(金)	第7回役員会	春の家ボランティアルーム	6人
2月	調査・広報 地区社協だより発刊	-	-
3月8日(金)	監査・第8回役員会	春の家ボランティアルーム	8人

< 笹岡地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月19日(水)	第1回役員会「総会について」	笹岡公民館	8人
5月13日(日)	総会		25人
6月14日(水)	第2回役員会		9人
7月22日(土)	第1回推進委員会		22人
9月20日(水)	第3回役員会		7人
10月	調査・広報 「生活支援サービス情報」「災害時緊急連絡網」の配布	—	—
11月12日(日)	笹岡地区ふれあいの集い	笹岡公民館	21人
12月18日(月)	第4回役員会		7人
1月	地区社協だより発刊	—	—
2月11日(日)	学習活動「赤坂デマンド型市民バス勉強会」	笹岡公民館	30人
	第2回推進委員会「勉強会の振り返り」		16人
3月12日(火)	監査・第5回役員会		8人

< 可真地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
1月20日(土)	設立総会	熊山保健福祉総合センター	24人
4月20日(土)	福祉会議		24人
3月16日(火)	運営委員会「広報紙の発行・来年度の事業について」		10人
3月	広報紙の発行	—	—

< 桜が丘東地区社会福祉協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月23日(日)	総会	桜が丘いきいき交流センター	28人
	福祉会議		28人
7月23日(日)	井戸端会議「命のバトン作成」「学習活動について」		12人
12月10日(日)	井戸端会議(委員代表会議)		3人
12月	簡単レシピの作成・配布(75歳以上ひとり暮らし高齢者、老人クラブ)	—	—
2月4日(日)	人生でさいごまで困らないための勉強会	桜が丘いきいき交流センター	41人
2月24日(土)	井戸端会議		3人
3月	簡単レシピの作成・配布(ひとり暮らし高齢者)	—	—
随時	命のバトン配布・更新(ひとり暮らし高齢者)		

< 周匝地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月14日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者42人	—	7人
5月11日(木)	総会	周匝会館	24人
6月9日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者45人	—	7人
8月18日(金)			7人
10月13日(金)			7人
10月19日(金)	運営委員会	周匝会館	12人
11月22日(月)	ボランティア研修会「出張健康教室」		25人
12月8日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者42人	—	7人
2月9日(金)			7人
3月26日(火)	運営委員会	周匝会館	10人

<山方地区社会福祉推進協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月14日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者27人	-	6人
6月2日(金)	総会・研修会「特殊詐欺について」	山方研修センター	18人
6月9日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者28人	-	6人
8月18日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者28人	-	6人
10月13日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者27人	-	6人
12月20日(木)	クリスマス訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者27人	-	6人
2月9日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者25人	-	6人
3月26日(火)	総会・話し合い「山方地区社協の今後の在り方について」	山方研修センター	14人

<佐伯北地区社会福祉推進協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月14日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者24人	-	2人
6月9日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者26人	-	2人
8月18日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者24人	-	2人
10月13日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者23人	-	2人
10月22日(日)	佐伯北スポーツ大会(グラウンドゴルフ)	八島田グラウンド	70人
12月8日(金)	クリスマス訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者23人	-	2人
12月16日(土)	福祉施設訪問用お飾りづくり	佐伯北研修センター	12人
12月21日(木)	福祉施設訪問	各福祉施設	1人
2月9日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者、80歳以上高齢者世帯)/対象者24人	-	2人
3月13日(水)	日本赤十字岡山県支部による健康生活支援講習	佐伯北研修センター	16人

<仁堀地区社会福祉推進協議会>

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月7日(金)	仁堀地区区長・民生委員合同福祉会議	仁堀西コミュニティハウス	14人
5月12日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者32人	-	32人
5月16日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ&スマホ教室」	夢百笑、仁美農村振興センター	40人
5月21日(日)	仁堀地区対抗グラウンドゴルフ大会	西の屋敷ヶ峠ゴルフパーク	45人
6月6日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ&スマホ教室」	夢百笑、仁美農村振興センター	40人
6月20日(火)		夢百笑、仁堀中コミュニティハウス	30人
7月4日(火)		夢百笑、仁美農村振興センター	42人
7月18日(火)		夢百笑、仁美農村振興センター	40人
7月23日(日)	移動カフェ&スーパーinくついし	竜天くついし夢の里会館	33人
8月17日(木)	福祉会議	吉井会館	6人
9月5日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ」	まちづくり夢百笑	30人
9月8日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者30人	-	30人
10月3日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ」	まちづくり夢百笑	35人
11月5日(日)	仁堀地区対抗グラウンドゴルフ大会	西の屋敷ヶ峠ゴルフパーク	27人
	移動カフェ&スーパーin仁堀東	仁堀東区民館	17人
11月7日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ」	まちづくり夢百笑	31人
11月10日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者31人	-	30人
12月3日(日)	移動カフェ&スーパーin仁堀西	仁堀西コミュニティハウス	40人
12月5日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ」	まちづくり夢百笑	28人
1月11日(金)	友愛訪問(75歳以上ひとり暮らし高齢者)/対象者3人	-	30人
2月6日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ」	まちづくり夢百笑	35人
2月	高齢者宅訪問事業	-	60世帯
3月5日(火)	仁堀地区通いの場「居場所作りオープンカフェ&さんさんカフェコラボ」	まちづくり夢百笑	45人

< 布都美地区社会福祉推進協議会 >

月 日	内 容	場 所	出席者数
4月14日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 17人	-	2人
4月24日(月)	総会・情報交換 「参加者の呼びかけ方法について」	布都美林間学校	9人
5月12日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 18人	-	2人
6月9日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 17人	-	2人
7月13日(木)	第1回ふれあいの集い	布都美林間学校	20人
8月18日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 17人	-	2人
9月8日(金)			2人
10月13日(金)			2人
11月10日(金)			2人
11月16日(木)	第2回ふれあいの集い 話し合い「生活支援サービス情報について」	布都美林間学校	21人
12月8日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 16人	-	2人
1月12日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 17人	-	2人
2月9日(金)	友愛訪問 (75歳以上ひとり暮らし高齢者) /対象者 18人	-	2人

(3) 福祉推進員活動支援事業

① 福祉推進員の配置

小地域における福祉活動の担い手として福祉推進員を設置し、民生委員児童委員等と連携して、地区住民の見守り活動等を推進しました。

山陽地域 44人 (45地区) 赤坂地域 21人 (22地区) 熊山地域 31人 (31地区)
吉井地域 31人 (34地区) 合計 127人 (前年度 128人)

② 新任者研修会の開催

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	4月21日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・福祉推進員について ・ふれあい見守りネットワーク活動について 	山陽総合福祉センター	19人
赤坂	4月13日(木)		赤坂健康管理センター	7人
	4月18日(火)			
熊山	4月12日(水)		熊山保健福祉総合センター	18人
	4月15日(土)			
吉井	4月18日(火)	吉井会館	17人	

③ 民生委員児童委員合同研修会の開催 (福祉推進員民生委員交流会)

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	5月16日(火)	・認知症サポーター養成講座	中央公民館	36人
赤坂	5月11日(木)	・民生委員児童委員、福祉推進員の役割 ・命のバトンについて	赤坂健康管理センター	14人
熊山	5月30日(火)	・民生委員児童委員、福祉推進員の役割・活動について ・情報交換 「ふれあい見守りネットワーク活動について」	熊山保健福祉総合センター	26人
吉井	4月18日(火)	・情報交換 「見守り対象者の情報共有、今後の地域福祉活動について」	吉井会館	45人

④ 福祉推進員連絡会の開催

・赤磐市福祉推進員連絡会

月 日	内 容	場 所	出席者数
11月16日(木)	(報告)・令和5年度福祉推進員に関わる事業について (協議)・代表者の互選について ・令和6年度福祉推進員に関わる事業(案)について (情報交換)・テーマ「福祉活動の協力体制について」	山陽総合福祉センター	11人

・各地域福祉推進員連絡会

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	5月16日(火)	・令和4年度福祉推進員活動報告について ・令和5年度福祉推進員スケジュールについて ・代表者及び副代表者の互選について	中央公民館	36人
赤坂	5月11日(木)		赤坂健康管理センター	14人
熊山	5月30日(火)		熊山保健福祉総合センター	26人
吉井	4月18日(火)		吉井会館	21人

(4) ふれあい見守りネットワーク活動支援事業

市補助事業(一部)

身近な地域での住民相互による安心・安全なまちづくりを進めるため、ふれあい見守りネットワーク活動を推進しました。

自治会を単位とする要援護者の孤独感の解消や状況把握等を行う友愛訪問や身近な生活圏を拠点にした仲間づくりを行うふれあいサロンの実施を呼びかけました。

① ふれあい・いきいきサロン活動の設置促進

内 容	令和5年度					前年度
	山陽	赤坂	熊山	吉井	合計	
サロン設置地区数 (地区数)	35 (45)	19 (22)	19 (31)	13 (34)	86 (132)	79 (132)
地区組織化率	77.8%	86.3%	61.3%	38.2%	65.2%	59.8%
延べ回数	440回	207回	215回	149回	1011回	766回
延べ人数 (ひと月30人上限で計算)	9,320人	3,839人	2,273人	2,034人	17,466人	12,733人

○区・町内会による住民の親睦交流を目的とした行事等を含む。

② ご近所見守りネットワーク活動支援

重点事業

ふれあい見守りネットワーク活動の手引きを一部修正し、関係者へ配布するとともに、地区社協設置単位や各自治会単位でふれあい見守りネットワーク活動の情報交換を行いました。

③ 助成金の交付

ふれあい見守りネットワーク活動助成金交付要綱に基づき112地区132団体に対して助成を行いました。

内 容	基本額	活動相当額	
		運営費	活動費
助成額	前年度10月1日時点の75歳以上人口に300円を乗じた額	月額 1,000円 ただし、ひと月の上限は1回とする。	延べ参加者に100円を乗じた額。ただし、月額の上限は3,000円とする。
備考	余剰金が発生した場合は、次年度に繰越できる。	1. 特段の事情があると認められ、複数のサロンが設置されている場合、サロンごとに請求できる。 2. 事業完了後、実績に応じて精算を行う。	

(5) サロン等送迎支援事業

通所付添サポート事業視察に、備前市三石地区に訪問し、自宅から最寄りの通いの場への移動支援についての現状と課題を確認しました。また、包括とともに通所付添サポート等の情報交換を行いました。

(6) 障がい者ふれあい事業

① 障がい者の集いの開催

市補助事業

月 日	令和5年9月3日(日) 10:00~12:00
場 所	赤磐市山陽ふれあい公園 フィットネスアリーナ
内 容	準備体操、レクリエーション
参加者数	154人(来賓7人、障害福祉関係団体84人、協力者63人)

【実行委員会】

	月 日	内 容	場 所	出席者数
第1回	6月23日(金)	プログラム内容について	山陽総合福祉センター	11人
第2回	8月10日(木)	プログラム及び役割分担について		11人
第3回	9月22日(金)	振り返り及び今後について		10人

(7) 子どもの居場所応援事業

① 子どもの学習・生活支援事業

市受託事業

・「あかいわ・りんすて塾」の開催

学習サポーター6名の協力により、山陽小学校3年生・17名を対象にあかいわ・りんすて塾を開催(15回)し、国語や算数など学校の宿題をサポートしました。

・「こももスペース☆いわなし☆」の開催

学習サポーター9名の協力により、磐梨小学校1年生から3年生・18名を対象にこももスペース☆いわなし☆を開催(15回)し、国語や算数など学校の宿題をサポートしました。

<学習サポーター連絡会>

	月 日	内 容	場 所	参加者数
磐梨小	8月25日(金)	・子どもの学習・生活支援事業について ・令和5年度実施計画について	熊山保健福祉 総合センター	8人
山陽小	8月28日(月)	・子どもの学習・生活支援事業について ・事業の進め方や活動にあたっての留意事項	山陽総合福祉センター	4人
合同	3月8日(金)	・令和5年度事業報告について ・令和6年度事業計画(案)について		13人

② 子どもの居場所づくり及び活動支援

子どもの居場所担い手講座受講者のうち14名が担い手として登録され、講座終了後も他団体の研修等について案内するとともに、情報提供や相談対応を行いました。その後、受講者により2箇所の新たな子どもの居場所の立ち上げに至りました。

③ 子どもの居場所担い手講座

月 日	内 容	会 場	参加者数
6月17日(土)	内容:地域の中の子どもの居場所~子どもを通じた地域のつながり~ 講師:川崎医療福祉大学 医療福祉学科 講師 直島克樹氏 実践発表:こどもの寺子屋について(法慶寺)	山陽総合福祉 センター	26人
7月14日(金)	実践発表:今日から出来るこども食堂 (そうじゃ食堂くうねるあそぶ) 実践発表:山陽子どもアイランドの活動について (山陽子どもアイランド)		26人

2. 生活支援コーディネーター事業

市受託事業

(1) 生活支援コーディネーター事業

① 地域のニーズと資源の状況の見える化の推進

・地域のニーズと社会資源の把握

地域の集いの場へ出向き、「困りごと（課題）」や地域で行われている活動の把握に努めました。また、民間事業者等が行っている高齢者の暮らしに役立つ生活支援サービスの情報収集を行い、関係者へ情報提供をしました。

・「あかいわ通いの場マップ」の作成・配布

社会資源の見える化の推進として、市内サロンや百歳体操の会場等を取りまとめた「あかいわ通いの場マップ」を作成し、ケアマネジャー・民生委員児童委員・福祉推進員等へ配布し、活動の周知、参加の促進を図りました。（配布部数：約 300 部）

・地域住民アンケート

モデル地区において、新たな担い手の発掘等を目的に通いの場参加者に対するアンケートを実施しました。（赤坂地域）

② 第2層協議体の設置促進及び運営支援

・地区社協設置促進

地区社協設置促進協力員と協力し、第2層協議体（地区社協）の設置について地域への働きかけを行い、設立につながりました。（熊山地域：可真地区社協）

・地区社協活動運営支援

地区社協設置地区に対しては、住民主体の活動を推進しつつ、必要に応じて適切な運営・活動支援を行いました。

*地区社協説明会（設立準備会）、地区社協活動支援へ記載

③ 第1層協議体への参加（市主催：地域支え合いネットワーク推進協議会）、地域ケア個別会議への参加

・赤磐市地域支え合いネットワーク推進協議会

月 日	内 容	場 所
8月25日（金）	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度生活支援体制整備事業 実績報告 地域資源の開発、支援の提供に係る現状と課題 令和5年度生活支援体制整備事業 活動計画 	赤磐市産業会館
3月11日（月）	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度生活支援体制整備事業の活動経過報告及び今後の活動方針 	

・地域ケア個別会議へ参加（計12回）

④ 住民への働きかけ及び啓発活動

・支え合いの地域づくり講演会の開催

月 日	内 容	会 場	参加者数
12月17日（日）	（講演） 「地域共生社会で必要とされるボランティアの力」 講師：NPO法人 岡山NPOセンター 参画推進センター所長 西村こころ氏 〈実践発表〉 「地域が繋がり・支え合うための活動実践」 発表者：NPO法人 スマイル・ちわ 代表理事 國米 彰氏	赤磐市立中央図書館多目的ホール	68人

⑤ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発

・入浴通所サポーター合同ミーティングの開催

「赤磐市モモちゃんサポーターの会」「入浴サポーター」の合同ミーティングを毎月開催し、活動状況や課題の共有を行い、担い手の養成やフォローアップに努めました。

・新規サポーターの確保

入浴通所サービスを実施するにあたり、随時サポーターの確保に努めました。

・高齢者の通いの場の創出

住民主体による要支援者や介護予防に資する自主的な通いの場づくりを目的として新たな居場所づくりのサービス開発を行いました。（熊山地域：もりもり食堂、吉井地域：仁堀地区）

⑥ 地域ニーズとサービスのマッチング

・通所付添サポート事業の実施協力・「赤磐市モモちゃんサポーターの会」「入浴サポーター」の運営・活動支援

自宅で入浴することが難しい高齢者を対象に赤磐市が入浴通所サービスを実施しています。自宅から入浴施設まで通所付添を行うサポーターの募集や活動調整等を生活支援コーディネーターが行いました。

・生活支援サービス等の情報提供

収集した生活支援サービス等の情報について、相談があったケアマネジャーや住民等に対し、必要に応じて情報提供を行いました。

⑦ コーディネーター間・関係機関との連携

・生活支援コーディネーター連絡会の開催

第1層・第2層生活支援コーディネーター（以下、SC）主担当を中心に、各地域 SC 担当者と定期的に連絡会を開催し、社会資源の共有や地域課題に対する取り組みなど、情報交換及び情報共有を図りました。

また、市介護保険課地域支援班や地域包括支援センターとは、主担当間の定期的な連絡会や必要に応じて地区担当者同士で情報共有等を行いました。

	月 日	内 容	場 所
第1回	5月10日（水）	・生活支援体制整備事業委託内容 ・令和5年度活動目標の具体的取り組み ・情報交換	山陽総合福祉センター
第2回	6月5日（月）	・生活支援コーディネーター活動内容 ・通いの場の創出 ・通いの場マップ ・情報交換	
第3回	7月5日（水）	・生活支援コーディネーターの役割 ・通いの場の創出 ・通いの場マップ ・情報交換	
第4回	8月2日（水）		
第5回	9月12日（火）	・生活支援コーディネーターの役割 ・通いの場の創出 ・通いの場マップ ・年間活動目標設定シート ・情報交換	
第6回	10月5日（火）	・生活支援コーディネーターの役割 ・通いの場の創出 ・通いの場マップ ・支え合いの地域づくり講演会 ・情報交換	
第7回	11月6日（月）	・三石地区通所付き添い事業視察研修 ・熊山地区民事協視察研修報告 ・通いの場の創出 ・情報交換	
第8回	12月7日（木）	（市地域支援班より） ・年間活動目標設定シート ・次年度計画 ・情報交換	
第9回	2月13日（火）	（事務所 SC 連絡会） ・各事務所内業務 ・地域アセスメントシートの検討 ・通いの場アンケート調査	

⑧ 各種研修（県主催）への参加

月 日	内 容	場 所
8月 9日(水)	PDCA サイクルに沿った取り組みの推進について	WEB 会議
9月 8日(金)	地域実践者研修	きらめきプラザ
10月 2日(月)	いきがい・助け合いオンラインフェスタ 2023	WEB 会議
1月 15日(月)	令和5年度岡山県生活支援コーディネーター現任研修	きらめきプラザ

3. ボランティアセンター事業

(1) ボランティアセンター事業

① 運営委員会・連絡会の開催

・ボランティアセンター運営委員会

月 日	内 容	場 所	出席者数
第1回 6月 7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度ボランティアセンター事業について 令和5年度ボランティアセンター事業(案)について ボランティアセンターのPRについて 	山陽総合福祉センター	15人
第2回 11月 20日(月)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度ボランティアセンター事業(4~10月)について 災害部会報告 あかいわボランティアセンター山陽フェス 2023 令和5年度ボランティアセンター事業について(11~3月) 令和6年度ボランティアセンター事業(案)について 		17人

・ボランティア連絡会

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	3月 13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度ボランティアセンター事業報告 令和6年度ボランティア活動保険について 令和6年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について ボランティア登録情報 ボランティア活動記録用紙 運営委員・災害部会員選出について 令和6年度あかいわボランティアセンター事業計画(案)について(ボランティア育成を目的とした活動への協力について) 情報交換会 	山陽総合福祉センター	23人
赤坂	3月 28日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業報告について 令和6年度スケジュールについて 令和6年度ボランティア活動保険について 令和6年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について ボランティアセンター運営委員・災害部会員選出について ボランティア登録情報 情報交換会 	赤坂公民館	7人
熊山	3月 23日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度事業報告・評価について 今後のボランティアセンター事業について 令和5年度ボランティア活動保険について 令和5年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について 情報交換会 	熊山保健福祉総合センター	3人
吉井	3月 7日(木)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度事業報告について 令和6年度スケジュールについて 令和6年度ボランティア活動保険について 令和6年度赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業について 情報交換 	吉井会館	6人

② ボランティア相談・コーディネート

内 容		令和5年度	前年度
相談件数	活動希望	11件	8件
	紹介希望	62件	14件
	ボランティア募集	2件	0件
	助成金紹介	4件	10件
	福祉教育	14件	10件
	その他	53件	15件
	合計	147件	54件

③ ボランティア情報の広報・啓発

- ・「ボランティア募集情報」・・・・・・8月更新
- ・「ボランティアを依頼したいかたへ」・・・・6月・12月更新

④ 登録ボランティアの活動支援※災害ボランティアを除く

内 容		令和5年度	前年度
ボランティア登録者数	グループ	31団体・474人	36団体・505人
	個人	68人	77人
	合計	31団体・542人	36団体・582人

⑤ ボランティア保険加入促進

内 容		令和5年度	前年度
ボランティア保険加入者数	ボランティア活動保険	129件・1,955人	69件・1,368人
	ボランティア行事用保険	47件・4,216人	21件・2,900人

(2) 災害ボランティアセンター事業

① ボランティアセンター運営委員会・災害部会の開催

月 日	内 容	場 所	出席者数
第1回 6月30日(金)	・令和4年度 部会報告 ・令和5年度 災害ボランティア養成講座(案)について	山陽総合福祉センター	7人
第2回 8月28日(月)	・災害ボランティアセンター備蓄品の確認 ・災害ボランティア養成講座実施計画(案)について	あかいわほほえみプラザ	6人
第3回 11月21日(火)	・災害ボランティア養成講座について		6人
第4回 3月5日(火)	・能登半島地震義援金について ・災害ボランティア養成講座について ・令和6年度災害部会関連事業(案)について		5人

② 災害ボランティア養成講座の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
1月27日(土)	(講義) 「災害ボランティア・災害ボランティアセンターの役割について」 講師：NPO法人 岡山NPOセンター 地域連携センター 主任 詩叶純子氏 (訓練) 「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」	赤坂健康管理センター	36人

③ 災害ボランティアセンター設置運営訓練

上記のとおり、災害ボランティア養成講座と同日に実施しました。

④ 災害ボランティア登録

災害ボランティアに特化した登録用紙を作成し、募集を行いました。

内 容	令和5年度	前年度
災害ボランティア登録者数	45人	37人

4. 福祉教育推進事業

(1) 福祉体験事業

① 出前福祉講座の実施

地域	日 程	学校名・学年・人数	内 容	講師及び協力者
山陽	10月4日(水)	山陽北小学校 (4年生94人)	高齢者疑似体験・ 車いす体験	福祉教育指導者(山陽寿荘3名) 学校ボランティア
	10月20日(金)	山陽西小学校 (4年生31人)	高齢者疑似体験・ 車いす体験	福祉教育指導者(多聞荘1名) 学校ボランティア
	10月23日(月)		手話体験 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者(個人登録者)
	11月7日(金)		特別講座 手話歌体験	福祉教育指導者 ・個人登録者 ・手話サークル山陽ももの会
	12月1日(金)		福祉教育のまとめ発表	福祉教育指導者 ・手話サークル山陽ももの会
	1月29日(月)	山陽小学校 (4年生61人)	車いす体験	福祉教育指導者(多聞荘1名)
	2月16日(金)		特別講座 「UD・福祉教育まとめ」	福祉教育指導者(個人登録者) 社協職員
	3月22日(金)		福祉教育のまとめ発表	社協職員
赤坂	12月4日(月)	軽部小学校 (4年生6人)	手話体験 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者(個人登録者) 社協職員
	2月16日(金)	石相小学校 (4年生16人)	車いす体験	福祉教育指導者(デイセンターなずな赤磐2名)、社協職員
	2月27日(火)		高齢者疑似体験	福祉教育指導者(まごころの里赤磐3名)、社協職員
熊山	6月30日(金)	豊田小学校 (4年生10人)	点字体験 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 ・点字サークル「あい」
	9月14日(木)		高齢者疑似体験 車いす体験	社協職員
	12月12日(火)	磐梨小学校 (4年生9人)	手話体験 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者(個人登録者)
	12月14日(木)		車いす体験	社協職員
吉井	9月12日(火)	城南小学校 (4年生11人)	「ふくし」とは	社協職員
	9月19日(火)		手話体験 聴覚障がい者講話	福祉教育指導者 ・個人
	10月27日(金)		点字体験 視覚障がい者講話	福祉教育指導者 ・点字サークル「あい」
学校数		8校	講 座 数	18回

② 夏のボランティア体験事業の実施

・参加者数等

内 容		令和5年度	前年度
参加申込者数	中学生	236人	126人
	高校生	1人	—
	その他	1人	1人
	合 計	238人	127人
受入施設数	高齢者関係	6施設	2施設
	障害児・者関係	5施設	2施設
	保育園等	15施設	5施設
	ボランティア団体等	5団体	5団体
	合 計	26施設・5団体	9施設・5団体

・事前研修会、活動調整会議

地区	月 日	内 容	場 所	参加者数
山陽	7月15日(土)	1)事前研修会 ・ボランティア体験事業の進め方 ・ボランティア活動の心得等 2)活動調整会議	中央公民館	体験参加者 140人 受入施設等 13人
赤坂			赤坂健康管理センター	体験参加者 29人 受入施設等 5人
熊山	7月8日(土)		熊山保健福祉総合センター	体験参加者 48人 受入施設等 5人
吉井	7月15日(土)		吉井会館	体験参加者 20人 受入施設等 4人

・事後研修会

地区	月 日	内 容	場 所	参加者数
山陽	9月9日(土)	1)事後研修会 ・ボランティア体験活動を振り返って	中央公民館	体験参加者 138人 受入施設等 12人
赤坂	8月26日(土)		赤坂健康管理センター	体験参加者 26人 受入施設等 7人
熊山	9月2日(土)		熊山保健福祉総合センター	体験参加者 37人 受入施設等 5人
吉井	9月2日(土)		吉井会館	体験参加者 18人 受入施設等 3人

(2) 福祉教育の推進

重点事業

① 福祉教育連絡会

福祉教育連絡会の実施は無し(赤磐市教育委員会学校教育課と次年度の福祉教育(出前福祉講座)について意見交換を行いました。)

② 福祉教育指導者の確保

福祉教育指導者は、当事者やボランティア、専門的な知識や技術を有する施設関係者等に登録をいただき、小・中学校等の求めに応じ、出前福祉講座で指導等を行いました。

内 容	令和5年度	前年度
福祉教育指導者	8団体 59人	6団体 43人

5. 在宅福祉サービス事業

(1) 給付事業

① おむつ等給付事業

会員特典事業

内 容	令和5年度	前年度	令和5年度 地区別利用者数			
			山 陽	赤 坂	熊 山	吉 井
実 施 回 数	2回	2回	107人	71人	23人	52人
延 利 用 者 数	253人	341人				

② 子育て紙おむつ給付事業

会員特典事業

内 容	令和5年度	前年度	令和5年度 地区別利用者数			
			山 陽	赤 坂	熊 山	吉 井
実 施 回 数	12回	12回	12人	1人	3人	1人
利 用 者 数	17人	18人				

(2) 貸出事業

① 介護機器貸出事業（対象：在宅で介護機器を必要とする者及びその家族）

会員特典事業

貸出機器・器具	令和5年度		前年度	
	保有台数	貸出件数	保有台数	貸出件数
車 い す	37台	79件	37台	73件
シャワーチェア	2台	1件	3台	0件
バスグリップ	1台	0件	1台	0件
歩 行 器	8台	5件	8台	2件
合 計		85件		75件

② 物品貸出事業（対象：地域福祉活動及びボランティア活動等で使用する団体個人）

貸出機器・器具	令和5年度		前年度	
	保有数	貸出件数	保有数	貸出件数
車 い す	37台	40件	37台	30件
高齢者疑似体験セット	17セット	8件	17セット	4件
視覚・聴覚障害者体験セット	8セット	0件	8セット	0件
点 字 器	100台	2件	100台	3件
白 杖	40本	3件	40本	0件
ア イ マ ス ク	122枚	1件	122枚	0件
レクリエーション物品	86種類	249件	86種類	247件
手 品 物 品	80種類	1件	80種類	0件
テ ン ト	10張	5件	10張	2件
プロジェクター	4台	53件	3台	56件
ワイヤレスマイク	5台	121件	3台	73件
D V D プ レ イ ヤ ー	1台	0件	1台	2件
C D プ レ イ ヤ ー	2台	6件	1台	0件
合 計		489件		417件

③ チャイルドシート等貸出事業

会員特典事業

貸出物	令和5年度	前年度
チャイルドシート	28件	34件
ジュニアシート	17件	9件
合 計	45件	43件

④ 車両貸出サービス事業

会員特典事業

貸出車両	令和5年度	前年度
タント（スロープ付軽自動車）	14件	13件
デミオ（スロープ付普通自動車）	0件	0件
ステップワゴン（8人乗ワゴン車）	3件	3件
デリカ（10人乗り普通自動車）	3件	0件
合 計	20件	16件

(3) リサイクル事業

① 介護用品リサイクル事業

内 容	令和5年度			前年度		
	譲渡希望者 (在庫含む)	譲受希望者 (在庫含む)	引渡件数	譲渡希望者 (在庫含む)	譲受希望者 (在庫含む)	引渡件数
介護用品リサイクル	57件	50件	48件	56件	25件	22件

② 育児用品リサイクル事業

内 容	令和5年度			前年度		
	譲渡希望者 (在庫含む)	譲受希望者 (在庫含む)	引渡件数	譲渡希望者 (在庫含む)	譲受希望者 (在庫含む)	引渡件数
育児用品リサイクル	54件	45件	44件	133件	41件	39件

6. その他福祉活動

(1) 社協会員の加入促進

① 会員募集やPR活動の強化

・社協会員加入状況 ※住民会員加入率 35.2% (規定外を除く) [前年度: 36.1%]

区 分		令和5年度		前年度	
		会員数	金 額	会員数	金 額
住 民 会 員	普通会員 (一口1,000円)	5,883世帯	5,895,000円	6,016世帯	6,027,000円
	特別会員 (一口1,000円・三口以上)	14世帯	51,000円	14世帯	46,000円
	規定外 (一口1,000円未満)	887世帯	301,493円	964世帯	341,116円
	小 計	6,784世帯	6,247,493円	6,994世帯	6,414,116円
賛 助 会 員	規 定 (一口3,000円以上)	254団体・事業所	924,000円	265団体・事業所	970,000円
	規 定 外 (一口3,000円未満)	1団体・事業所	1,000円	2団体・事業所	2,000円
	小 計	255団体・事業所	925,000円	267団体・事業所	972,000円
合 計		7,039	7,172,493円	7,261	7,388,116円

② 区・町内会会議への出席

・各地域区長会

月 日	会 議 名	場 所
4月13日(木)	熊山地域区長会役員会	熊山支所
4月20日(木)	山陽地域区長会	中央図書館
4月21日(金)	赤坂地域区長会	赤坂健康管理センター
4月21日(金)	熊山地域区長会	くまやまふれあいセンター
4月24日(月)	吉井地域区長会	吉井会館
1月12日(金)	熊山地域区長会役員会	熊山支所
1月16日(火)	赤坂地域区長会	赤坂健康管理センター
1月17日(水)	山陽地域区長会	中央図書館
1月17日(水)	熊山地域区長会	くまやまふれあいセンター
1月19日(金)	吉井地域区長会	吉井会館

・山陽・桜が丘西・桜が丘東連合町内会

月 日	会 議 名	場 所
4月1日(土)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
4月24日(月)	山陽・桜が丘西・桜が丘東町内会長会	中央公民館

月 日	会 議 名	場 所
5月6日(土)	桜が丘西連合町内会長会議	桜が丘いきいき交流センター
6月1日(木)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
6月3日(土)	桜が丘西連合町内会長会議	桜が丘いきいき交流センター
8月1日(火)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
9月1日(金)		
9月2日(土)	桜が丘西連合町内会長会議	桜が丘いきいき交流センター
10月1日(日)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
10月7日(土)	桜が丘西連合町内会役員会	桜が丘いきいき交流センター
11月4日(土)		
12月1日(金)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
12月2日(土)	桜が丘西連合町内会長会議	桜が丘いきいき交流センター
1月6日(土)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
1月6日(土)	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター
1月24日(水)	山陽・桜が丘西・桜が丘東町内会長会	中央公民館
3月1日(金)	山陽連合町内会役員会	山陽公民館
3月2日(土)	桜が丘西連合町内会会長会議	桜が丘いきいき交流センター

(2) 地域活動支援センター「ももっこ作業所」の運営

市受託事業

① 登録者及び通所者

内 容	令和5年度	前年度
登 録 者	8人	7人
通 所 者	7人	5人

② 主な事業報告

- ・作業内容 結び織り座布団、マフラー、刺し子・刺繍・絞り染め布巾、野菜づくり
新聞・段ボール・アルミ缶リサイクル活動

・事業等

月	事業等
4月	文化講習(花)、誕生会、花苗植え付け、廃品回収
5月	文化講習(水彩画)、いちごの収穫、廃品回収
6月	誕生会
7月	福祉就労フェア参加、七夕、夏のボランティア体験受入、廃品回収
8月	夏のボランティア体験受入、赤磐市高齢者・障害者虐待防止研修参加、実習生受入(新見公立大学)、廃品回収
9月	体験活動受入(瀬戸高等支援学校)
10月	体験活動受入(瀬戸高等支援学校)、缶バッチ作成、廃品回収(2回)
11月	文化講習(花)、赤磐市高齢者・障害者虐待防止研修参加
12月	クリスマス会、廃品回収
1月	体験活動受入(瀬戸高等支援学校)
2月	誕生会、意見交換会、虐待防止及び身体拘束等の適正化に係る研修(社協主催)、廃品回収
3月	誕生会、避難訓練(火災)、廃品回収

③ 利用者送迎の実施

希望する通所者3名に対し、送迎支援を実施しました。

④ 情報交換会の開催

月 日	内 容	場 所	出席者数
2月1日(木)	・普段の作業状況について ・次年度からの利用料(食材費実費負担)について	ももっこ作業所	8人

(3) 赤磐市戦没者追悼式の実施協力 (※平成 30 年度より赤磐市及び赤磐市社会福祉協議会共催事業)

			市補助事業
月 日	場 所	参列者	前年度
7 月 4 日 (火)	桜が丘いきいき交流センター	74 人 【内訳】来賓 6 人、主催者 5 人、遺族 61 人、その他 2 人	67 人

(4) 赤磐市民生委員児童委員協議会との連携

地区	定例会出席状況	民生委員協力事業等
山陽	9 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動 ・障がい者の集い
赤坂	11 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動 ・障がい者の集い
熊山	11 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協 ・共同募金 (熊山駅前街頭募金) <ul style="list-style-type: none"> ・新見市井倉・草間・豊永地区民生委員児童委員協議会合同研修会での事例発表
吉井	11 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい見守りネットワーク活動 ・地区社協活動 ・障がい者の集い <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ活動 ・ひきこもり者居場所づくり

(5) 赤磐市老人クラブ連合会との連携

老人クラブの地域づくり並びに自主運営に関する協定書に基づき、本会が推進する地域づくり活動へ参加協力を依頼しました。

(6) 関係機関 (自治会等) との連絡調整

地区社協設立に向けて協力を依頼し、地域課題の把握などを行いました。

(7) 福祉団体への活動支援

福祉団体の活動強化を図り自主的に活動を行えるよう、育成指導及び支援を行いました。

① 赤磐市身体障害者福祉連合会

山陽地区身体障害者福祉協会
赤坂地区身体障害者福祉協会
熊山地区身体障害者福祉協会
吉井地区身体障害者福祉協会

② 赤磐市遺族連合会

山陽地区遺族会
赤坂地区遺族会
熊山地区遺族会
吉井地区遺族会

③ 赤磐市手をつなぐ親の会

(8) 赤い羽根共同募金運動の協力

- ① 広報紙「赤い羽根共同募金」の発行
- ② 募金活動 (個別募金、法人募金、街頭募金等)
- ③ 赤磐市共同募金委員会の開催



Ⅱ. 生活支援課

1. 総合相談支援事業

- (1) 生活困窮者自立支援事業（赤磐市くらし・しごと応援センター「あすてらす」） **市受託事業**
 経済的・社会的に困窮しているかたの自立生活を支援するため、生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業等を受託実施し、就職や家計管理、住居等のサポートを行いました。

① 相談件数等

内 容		令和5年度	前年度
新規相談件数		64件	110件
延相談件数		1,214件	1,532件
プラン作成件数	自立相談支援事業	54件	51件
	家計改善支援事業	18件	21件
就 労 者 数		11人	16人
支援終了件数	自立相談支援事業	13件	15件
	家計改善支援事業	4件	5件

② 家計専門相談の実施

ファイナンシャル・プランナーによる家計専門相談を年6回実施しました。

③ 自立支援ネットワーク連絡会議の開催

月 日	内 容	会 場	参加者数
8月18日（金）	・相談窓口の体制及び機能強化について ・意見交換	中央図書館	19人
1月30日（火）	・実践報告 ・意見交換	赤磐市役所本庁	24人

④ 支援調整会議の開催

生活困窮者の相談支援にあたり、生活困窮者支援調整会議を開催し、自立支援計画の適切性を判断するとともに、関係機関の役割調整及び事後評価の検証等を行いました。（年14回開催）

⑤ 生活困窮者自立支援セミナーの開催

月 日	内 容	会 場	参加者数
11月2日（木）	講義『地域におけるひきこもり支援』 講師：黒川 明宏氏 （瀬戸内市ひきこもりサポートセンターひなた主任）	中央図書館	22人

⑥ 広報・啓発活動

チラシや広報用カードの配布、本会ホームページ及び広報紙、行政広報誌、各種会議等を通じて事業の周知を図りました。

⑦ 生活困窮者支援スーパーバイザー設置事業

生活困窮者支援スーパーバイザーを設置し、相談支援員等を対象にグループスーパービジョンを実施しました。（年2回実施）

(2) 生活困窮者緊急一時支援事業

① 食料支援事業

市民や団体、企業、商店、福祉施設・事業所及び学校等の協力を得てフードバンク活動やフードドライブ活動を実施し、食料を無償で提供しました。

内 容	令和5年度	前年度
支 給 件 数	381件	413件
寄付受付件数等	169件（約3,437kg）	160件（約2,967kg）

② 臨時食料支援事業

生活に困窮している世帯を対象に緊急一時支援を行うとともに、潜在化しているニーズを発掘し、支援につなげることを目的に食料を無償で提供しました。(年1回実施・139世帯)

③ 暮らしサポート事業の協働実施

赤磐市社会福祉法人連絡会に加入する14法人の協力のもと、令和5年11月1日(水)から17日(金)までの間、フードドライブ活動を実施しました。(924点・1,162kg)

④ 日用品等支援事業

市民等から日用品や衣類、家電用品等の寄付を募り、無償で貸与又は提供しました。

内 容	令和5年度	前年度
貸付・支給件数	15件	21件
寄付受付件数等	20件	19件

⑤ おうち片づけ応援事業

ごみ屋敷状態で生活している生活困窮者の生活環境を整えるため、赤磐暮らし・しごと応援団・生活支援サポーター)の協力を得て、清掃や片づけ、整理整頓等の支援を行いました。

内 容	令和5年度	前年度
支 援 件 数	1件	0件

⑥ おうち片づけサポート事業の協働実施に向けた調査研究

ごみ屋敷状態で生活している生活困窮者の生活環境を整えるための事業実施に向け、調査研究を行いました。

⑦ 安心すまいサポート事業の協働実施

一定の住居を持たない生活困窮者に対し、緊急一時的に宿泊場所を供与するため、社会福祉法人広虫荘の協力を得て事業を実施しました。(2件)

⑧ 緊急援護資金貸付事業

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった生活困窮者の自立更生の援護に資するため、小口資金の貸し付けを行いました。

内 容	令和5年度	前年度
相 談 件 数	12件	14件
貸 付 件 数	4件	4件
貸 付 金 額	85,000円	62,000円

(3) 赤磐暮らし・しごと応援団サポーター活動

① サポーター募集活動の実施

地域社会全体で生活困窮者支援を推進するため、サポーターの募集活動を行うとともに、多様な分野の関係者や市民の協力を得て、生活困窮者支援活動を実施しました。

内 容	令和5年度	前年度
食料支援サポーター	14団体	12団体
日用品等支援サポーター	5団体	5団体
就労支援サポーター	4団体	3団体
生活支援サポーター	6団体	5団体
ひきこもりサポーター	13人	10人
その他サポーター	13人	13人

- ② 協力事業者ステッカーの作成・配布
新規登録団体に対し、協力事業者ステッカーを配布しました。

(4) 重層的支援体制整備事業調査研究事業

重点事業

① 相談機関連絡会の開催

各相談窓口で受けた相談が必要な支援につながるよう相談機関の連携促進を図ることを目的に、連絡会を開催しました。また、相談窓口案内チラシを作成しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
9月20日(水)	・相談窓口チラシの作成について ・意見交換 講師：堀川 涼子氏 (美作大学社会福祉学科教授)	中央図書館	10人

② 相談窓口の体制及び機能強化に向けた検討

市町村域における包括的相談支援体制の構築が求められるなか、包括的な相談支援体制の充実に向けて調査研究を行うとともに、顕在化するひきこもりに関する専門相談窓口の開設に向けて政策提言を行いました。

(5) 居住支援サービス調査研究事業【新】

重点事業

① 居住支援事業準備委員会の開催

入居者への見守りや生活支援、緊急一時的な宿泊場所の提供など居住支援事業の実施に向けて準備するため、委員会を設置して協議を行いました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
8月30日(水)	・委員長の互選について ・居住支援の現状及び課題等について	山陽総合福祉センター	15人
10月6日(金)	・居住支援事業について ・一時生活支援事業の受託実施について	山陽総合福祉センター	14人
2月1日(木)	・居住支援事業について ・一時生活支援事業の受託実施について	山陽総合福祉センター	14人

② 居住支援団体等情報交換会の開催

実績なし

2. 生活福祉資金貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

県社協受託事業

低所得者、障害者又は高齢者に対し、経済的自立や生活意欲の助長促進等を図り、安定した生活を送れるよう、資金の貸し付けと必要な相談支援を行いました。

① 貸付相談及び償還指導の実施

・相談件数

資 金 の 種 類		令和5年度	前年度
総合支援資金		8件	41件
教育支援資金		6件	4件
福 祉 資 金	(福祉費)	24件	37件
	(緊急小口資金)	9件	47件
不動産担保型生活資金		0件	0件
そ の 他		1件	30件
合 計		48件	159件

・貸付件数

資金の種類		令和5年度	前年度
総合支援資金		498件	554件
教育支援資金		2件	2件
福祉資金	(福祉費)	2件	2件
	(緊急小口資金)	250件	274件
不動産担保型生活資金		0件	0件
合計		752件	832件

② 調査委員会の開催

月 日	内 容	会 場	参加者数
8月 8日 (火)	・委員長の互選について ・生活福祉資金貸付事業(住居の移転等)の見直しに係る要望事項について	山陽総合福祉センター	5人

(2) 市町村社協相談支援体制強化推進事業【新】

県社協受託事業

① 特例貸付借受人への相談支援の実施

特例貸付借受世帯へのフォローアップを通じて、支援の必要な世帯の洗い出しを行うとともに、必要な支援へのつなぎを行いました。また、現状把握や支援必要度について選別を行うため、状況確認調査を行いました。

内 容	令和5年度
相談件数	232件

3. 日常生活自立支援事業

(1) 日常生活自立支援事業

県社協受託事業

認知症高齢者や知的・精神障害者など判断能力が十分でないかたの在宅での生活を支援するため、福祉サービス利用援助や日常的金銭管理サービス等を実施しました。

① 利用相談及びサービス提供の実施

・相談件数等

内 容		令和5年度	前年度
相談件数	(電話相談含む)	1,380件	1,270件
契約締結件数		3件	2件
契約終了件数		2件	6件
実利用者数	認知症高齢者	3人	2人
	知的障害者	11人	12人
	精神障害者	7人	6人
	合計	21人	20人
支援実施件数		364件	343件

・生活支援員数

内 容	令和5年度	前年度
登録人数	14人	11人
(内、雇用人数)	8人	8人

② 生活支援員研修会の開催

月 日	内 容	会 場	参加者数
2月15日(木)	講義『意思決定支援について考える』 講師：濱崎 絵梨氏 (ノートルダム清心女子大学准教授)	山陽総合福祉センター	15人

③ その他

月 日	内 容	会 場	参加者数
10月30日(月)	岡山県運営適正化委員会実施状況調査	山陽総合福祉センター	7人
3月19日(火)	赤磐市社会福祉協議会内部監査	山陽総合福祉センター他	5人

4. 中高年ひきこもり者支援活動

(1) ひきこもり者等居場所活動

① 当事者の居場所づくり及び活動支援

ひきこもり者の居場所づくりを進めるため、活動場所や食料品の提供、活動に必要な物品の貸し出しなど、支援団体による活動を支援しました。

② ひきこもり者居場所づくりアドバイザー設置事業

ひきこもり者居場所づくりアドバイザーを設置し、居場所の運営を支援しました。(39回)

③ ひきこもり者家族教室の開催

同じ悩みを持つ家族が気軽に集い、勉強したり話し合える場づくりを進めるため、専門職の協力を得て家族教室を開催しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
6月21日(水)	・講話『ひきこもりの支援過程』 ・交流会	山陽総合福祉センター	3人
9月27日(水)	・講話『ひきこもり当事者の状態』 ・交流会	山陽総合福祉センター	6人
12月20日(水)	・講話『居場所、当事者会とは』 ・交流会	山陽総合福祉センター	3人
3月6日(水)	・講話『居場所、当事者会とは』 ・交流会	山陽総合福祉センター	4人

(2) 生活困窮者就労訓練・体験事業

① 就労訓練・体験の場づくり

就労訓練・体験の機会や場の充実を図るため、商店や福祉施設・事業所等に対し、生活困窮者就労訓練事業への協力や就労支援サポーターへの登録を依頼しました。

② ひきこもり者体験・訓練活動

関係機関・団体等との連携・協働のもと、ひきこもりサポーターの協力を得て体験・訓練活動を実施しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
6月7日(金)	職場体験会 in 岡山県立美術館	岡山県立美術館	1人
7月27日(木)	職場体験会 in 岡山県立図書館	岡山県立図書館	2人
7月28日(金)	職場体験活動	今井農園他	5人
9月21日(木)	ボランティア体験会 in 閑谷学校	閑谷学校	1人
11月10日(金)	ボランティア体験会岡山マラソン事前準備	ジップアリーナ岡山	1人
1月19日(金)	お米の小分け作業等	山陽総合福祉センター	2人
1月26日(金)	ボランティア体験 inRCF	ルーラルカプリ農場	1人

③ しごとサポート事業の協働実施

就労に困難を抱える生活困窮者に対し、就労体験や訓練の機会を提供するため、認可事業所の協力を得て就労訓練事業を実施しました。(利用実績無し)

(3) ひきこもりサポーターの養成・派遣事業

重点事業

① ひきこもりサポーター養成講座の開催

当事者や家族への理解、ひきこもり支援の実践に必要な力量を高めることを目的に、養成講座を開催しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
12月16日(土)	・実践報告『あすてらすにおけるひきこもり支援の取り組み』 ・講演『ひきこもりってどんなこと?』 講師：中井 俊雄氏 (ノートルダム清心女子大学准教授) ・実践報告『ひきこもりサポーター活動』 報告者：瀬戸内市ひきこもりサポートセンターひなた	山陽総合福祉センター	16人

② ひきこもりサポーターの活動支援

ひきこもりに関する制度や施策の動向について情報提供を行うとともに、当事者の体験・訓練活動の参加案内を行い、活動の機会や場を提供しました。また、ひきこもりサポーター活動の現状や今後の取り組みについて意見交換を行うため、連絡会を開催しました。(登録者：13人)

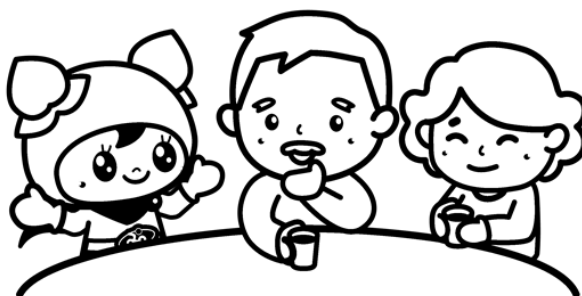
月 日	内 容	会 場	参加者数
3月21日(木)	・令和6年度ひるの居場所の開催について ・令和6年度サポーター活動について	山陽総合福祉センター	10人

(4) ネットワークづくり事業

① ひきこもり支援検討会の開催

ひきこもり支援に係る活動やネットワーク構築等について協議を行うため、検討会を開催しました。

月 日	内 容	会 場	参加者数
7月14日(金)	・相談窓口の体制及び機能強化について ・ひきこもりサポーター養成講座について	中央公民館	10人
1月22日(金)	・ひきこもり者支援活動のあり方に関する検討について ・令和6年度実施計画について	赤磐市役所本庁	10人



Ⅲ. 地域包括支援センター

1. 介護予防・生活支援サービス事業

(1) 通所付添事業の実施

① 入浴サポーターの養成及び活動支援

生活支援コーディネーターと協力し、関係各所へサポーター募集のチラシを配布し、各サポーターの募集を行いました。

また、入浴サポーターとして活動しているかたの声かけにより、2人の入浴サポーターが新規登録され、活動開始となりました。

さらに、通所付添サポーター・入浴サポーター合同ミーティングへ毎月1回参加し、利用者の状況等、必要な情報共有や活動支援を行いました。

② 通所付添サポーターの養成及び活動支援

生活支援コーディネーターと協力し、関係各所へサポーター募集のチラシを配布し、各サポーターの募集を行いました。

また、機会をとらえてサポーター募集の声かけを行うとともに、社協広報紙「福祉のひろば」にて通所付添サポーターの紹介・募集を行いました。

さらに、通所付添サポーター・入浴サポーター合同ミーティングへ毎月1回参加し、利用者の状況等、必要な情報共有や活動支援を行いました。

③ ハートフル応援隊の養成及び活動支援

ハートフル応援隊の活動は休止しています。

2. 介護予防事業

(1) いきいき百歳体操の普及啓発

重点事業

① いきいき百歳体操の集いの継続支援及び立ち上げ支援

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各会場の「いきいき百歳体操」の集いも活発になってきており、5年表彰や体力測定等で会場訪問を実施し、活動の活性化及び活動支援を行ってきました。

また、新規会場についても地域の関係者等に継続的に働きかけを行い、2会場が立ち上がり、86会場となりました。

新規会場	2会場（山陽7丁目・桜が丘西3丁目）
登録会場数(令和6年3月31日現在)	86会場

(継続支援)

継続支援目的の地域包括支援センター職員による会場訪問	141回
----------------------------	------

※ 5年表彰及び体力測定、介護予防に関する情報提供を含む

② 市内全域での世話役交流会の開催

世話役のみなさんの意見を聞く場として地域ごとの連絡会（交流会）に変更し、開催しました。

地域	月 日	内 容	場 所	参加者数
山 陽	12月18日(月)	1) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 2) いきいき百歳体操の開催状況について 3) 世話役同士の交流（グループワーク）	中央図書館	22人
吉 井 赤 坂	12月11日(月)		赤坂健康管理センター	24人
熊 山	12月19日(火)		熊山保健福祉総合センター	15人
桜が丘 西・東	12月21日(木)		中央図書館	13人

(2) 介護予防支援ボランティア養成事業の実施

① 介護予防支援ボランティア養成講座の開催

介護予防支援ボランティア（認知症予防支援ボランティア・運動支援ボランティア）の募集を行い、24人の申し込みがありました。

また、今年度より養成講座の内容や回数、認知症予防支援ボランティアと運動支援ボランティア養成講座を両方受講・修了できるよう見直し、「9期生 介護予防支援ボランティア養成講座」を開催し、認知症予防支援ボランティア：9人、運動支援ボランティア：15人が誕生しました。

(合同講座①)

月 日	内 容	場 所
5月31日(水)	1) 介護予防支援ボランティアについて 2) 認知症サポーター養成講座 3) オレンジ劇団(※)による寸劇	あかいわ ハートフル 太陽

(※) 認知症予防支援ボランティア有志による認知症啓発の寸劇を通じた啓発活動
(専門講座)

【認知症予防支援ボランティア】

月 日	内 容	場 所
6月7日(水)	「認知症の方と家族の心理について」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 荒井 佐和子 氏	あかいわ ハートフル 太陽
6月21日(水)	「コミュニケーションの技法を学ぶ～傾聴、回想法について」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 谷原 弘之 氏 荒井 佐和子 氏	
7月5日(水)	「みんなで脳はつらつ！ボランティア活動に活用できる脳トレについて」 講師：川崎医療福祉大学 臨床心理学科 荒井 佐和子 氏	

【運動支援ボランティア】

月 日	内 容	場 所
6月14日(水)	「高齢者の身体機能の変化とこれからの健康維持について」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	あかいわ ハートフル 太陽
6月28日(水)	「いきいき百歳体操の実技①」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	
7月12日(水)	「いきいき百歳体操の実技②」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏	

(合同講座②)

月 日	内 容	場 所
7月26日(水)	講話「今日からあなたもボランティア ～安心して過ごせるまちづくりのためにできること～」 講師：赤磐市社会福祉協議会 地域福祉課 川上 大樹 氏 グループワークほか	あかいわ ハートフル 太陽

② 各ボランティア向けのフォローアップ研修の開催及び活動支援

【認知症予防支援ボランティアの活動支援】

(代表者会議)

各地域の認知症予防支援ボランティアの活動に関する情報交換などを行うとともに、話し合いを行いました。

月 日	内 容	場 所	出席者数
5月25日(水)	1) 各地域の活動報告 2) 今年度の活動及びフォローアップ研修について等	赤坂健康管理 センター	8人
9月1日(金)	1) 認知症かるたの作成について 2) 地域包括支援センター事業への協力依頼	中央図書館	8人
10月23日(月)	1) 認知症啓発講演会について 2) 上半期の認知症予防支援ボランティアの活動について 3) 下半期の認知症予防支援ボランティアの活動について等	山陽産業会館	10人

(連絡会)

地域別に連絡会を開催し、各地域の実情にあわせて、地域ごとの認知症予防支援ボランティアの活動の充実が図れるよう話し合いを行いました。

地域	月 日	内 容	場 所	出席者数
山陽	6月15日(木)	1) 代表者会議の報告 2) さんさんカフェについて	中央図書館	14人
	11月21日(火)	山陽地域認知症予防支援ボランティアの活動について		13人
	2月1日(木)	山陽地域認知症予防支援ボランティアの活動(ケアハウス桃香でのさんさんカフェ)について		15人
赤坂	6月20日(火)	1) 代表者会議の報告 2) 通信の内容について等	赤坂健康管理センター	10人
	9月12日(火)	さんさんカフェについて等		15人
	3月27日(水)	1) 赤坂地域認知症予防支援ボランティアの活動について 2) 令和6年度 赤坂地域認知症予防支援ボランティア代表者について		12人
熊山	4月18日(火)	1) 活動状況の情報交換 2) 今年度の活動について等	熊山保健福祉総合センター	6人
	6月14日(水)	1) 代表者会議の報告 2) 活動の方向性(さんさんカフェ)について等		4人
	9月29日(金)	1) さんさんカフェについて 2) 代表者会議・認知症啓発講演会の報告等		6人
	11月22日(水)	1) さんさんカフェについて		4人
	2月28日(水)	2) 「さんさんカフェ通信」について等		6人
吉井	6月2日(金)	1) 代表者会議の報告 2) 今年度の活動について等	吉井支所	8人
	8月4日(金)	1) さんさんカフェについて 2) 通信(チラシ)の内容について等		8人
	10月5日(金)	1) 通信(チラシ)の作成・配布について 2) 認知症予防支援ボランティア臨時代表者会議の報告		9人
	11月17日(金)	1) 吉井中学校での認知症啓発授業について 2) ロバ隊長(マスコット)制作等		6人
	1月26日(金)	1) 通信(チラシ)の作成・配布について 2) さんさんカフェについて等		9人

(合同交流会・フォローアップ研修)

月 日	内 容	場 所	参加者数
11月21日(火)	認知症予防支援ボランティア合同交流会 1) 認知症予防支援ボランティアの活動について 2) グループワーク(意見・情報交換)	中央図書館	27人
12月5日(火)	認知症予防支援ボランティアフォローアップ研修 「認知症の人への接し方とケアのポイント」 講師：一般社団法人 岡山県介護福祉士会 山縣 香織 氏 ・ 町羽 学 氏	赤坂健康管理センター	30人

(その他の活動支援)

地 域	内 容
全 域	オレンジ劇団による認知症啓発のための寸劇活動
赤坂地域	認知症予防支援ボランティア通信の発行
熊山地域	さんさんカフェ通信(認知症予防支援ボランティア通信)の発行
吉井地域	認知症予防支援ボランティア通信の発行 吉井地域認知症予防支援ボランティア有志による認知症啓発のための寸劇活動 (吉井中学校での認知症啓発授業)

【運動支援ボランティアの活動支援】

(代表者会議)

今年度はアフターコロナに向けた運動支援ボランティアの活動について話し合うため、代表者会議及び連絡会を開催し、今年度の運動支援ボランティアの活動について合意形成を図りました。

また、1月には運動支援ボランティアフォローアップ研修を兼ねて連絡会（研修会）を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
7月 7日 (金)	1) 各地域の開催状況について 2) 今年度の活動について	赤坂健康管理センター	7人
10月 20日 (金)	1) 運動支援ボランティアの活動・研修について 2) いきいき百歳体操世話役交流会について等		6人
3月 15日 (金)	1) 今年度の活動の振り返り 2) 今後の活動について等		7人

(連絡会)

月 日	内 容	場 所	参加者数
7月 31日 (月)	1) 各地域の開催状況について 2) 今年度の活動等について	赤坂健康管理センター	42人
1月 10日 (水)	「かみかみ百歳体操を実施するうえでのポイント」 講師：一般社団法人 岡山県歯科衛生士会 多田 孝子 氏	中央図書館	46人

③ 介護予防支援ボランティア合同研修の開催

今年度は介護予防支援ボランティアに加え、キャラバン・メイトとの合同交流会を開催し、ボランティア同士の交流と意見交換を図りました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
2月 14日 (水)	1) 介護予防支援ボランティア（運動支援ボランティア・認知症予防支援ボランティア）及びキャラバン・メイトの活動紹介 2) KJ法を用いたグループワーク（この3年間を振り返って、ボランティア活動をしてよかったこと）等	中央図書館	35人

(3) 認知症予防事業の実施

① 認知症予防教室（脳イキキ☆認知症予防教室）の開催

開催月等	内 容	場 所	受講申込者数
前期（全8回） 6月～9月	「脳活性化運動」 講師：岡山スポーツ会館 新田 瑞希 氏 「介護予防に関する講話（栄養、口腔）」 講師：赤磐医師会病院 管理栄養士 草谷 悦子 氏 岡山県歯科衛生士会 多田 孝子 氏	赤坂健康管理センター	15人
後期（全8回） 10月～1月	「音楽を使った認知症予防」 講師：音楽講師 小堀 佳代子 氏 「回想法」 担当：認知症予防支援ボランティア 「かみかみ百歳体操」 担当：運動支援ボランティア	中央図書館	27人

② 認知症啓発に関する講演会の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
9月 19日 (火)	「認知症の誤解をなくそう!!」 ～認知症当事者と家族の声を聴く～ 講師：公益社団法人認知症の人と家族の会 岡山県支部 代表 安藤 光徳 氏 認知症当事者のかた及び家族のかた	中央公民館	77人

③ 新たな通いの場の創出及び活動支援

脳イキイキ☆認知症予防教室終了後、同窓会を開催し、自主的な活動（自主グループ化）へ向けた支援及び継続支援を行いました。

3. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援業務

① 高齢者が抱える多種多様な生活課題に対する相談対応（総合相談件数）（単位：件）

内 容	本 庁	赤坂分室	熊山分室	吉井分室	合 計	前年度
介護相談	1,228	390	404	660	2,682	2,532
福祉相談	35	13	236	28	312	291
介護予防	34	26	159	83	302	426
認知症	218	17	175	50	460	448
健康医療	116	9	322	57	504	529
権利擁護・虐待	55	21	129	8	213	102
その他	71	70	17	37	195	356
合 計	1,757	546	1,442	923	4,668	4,684

② 高齢者の実態把握（実態把握件数）（単位：件）

内 容	令和5年度	前年度
実態把握（訪問件数）	22	381

③ 地域におけるネットワークの構築

ネットワーク構築のため、関係機関・各種団体等との話し合い等を通じて連携強化に努めました。

(2) 権利擁護事業

① 赤磐市中核機関における一次相談窓口としての機能強化

赤磐市が設置する中核機関の一次相談窓口として、成年後見制度に関する相談や利用支援に向けた支援等を行いました。

（成年後見制度に関する相談支援件数）（単位：件）

内 容	令和5年度	前年度
成年後見制度の活用に係る相談支援等の件数	72	23

② 成年後見制度の理解促進に向けた啓発活動

成年後見制度の理解促進を図るため、住民向け権利擁護研修会及び個別相談会を開催しました。

（前期）

月 日	内 容	講 師	場 所	参加者数
第1回 7月14日（金）	相続・遺言	一般社団法人 晴ればれ岡山 サポートテラス	赤坂健康 管理 センター	16人 個別相談4人
第2回 7月28日（金）	成年後見制度・財産管理契約・死後事務 委任契約			21人 個別相談4人

（後半）

月 日	内 容	講 師	場 所	参加者数
第1回 11月14日（火）	相続・遺言	一般社団法人 晴ればれ岡山 サポートテラス	吉井会館	12人 個別相談4人
第2回 11月28日（火）	成年後見制度・財産管理契約・死後事務 委任契約			13人 個別相談4人

③ 高齢者虐待に関する相談受付及び対応

高齢者虐待の窓口として、相談を受け付け、本庁及び各分室で緊密な連携・情報共有を図るとともに、赤磐市役所や赤磐警察署などの関係機関との連携強化に取り組んできました。

また、昨年度に引き続き、高齢者虐待の防止、早期発見、早期対応を図るため、岡山県主催の「高齢者虐待対応現任者研修会」へ職員を派遣し、対応能力の向上に努めました。

④ 高齢者虐待防止等にむけた専門職向け権利擁護研修会の開催

今年度、赤磐市において虐待防止等研修会が開催されたことから、専門職向け権利擁護研修会は行わず、法人内の研修に参加し、地域包括支援センターの職員研修としました。

※ 詳細については 52 頁④職員の資質向上及び人材育成「虐待防止及び身体拘束等の適正化に係る研修」参照

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

① 介護支援専門員に対する相談及び支援対応

内 容	令和 5 年度	前年度
介護支援専門員等に対する個別相談・支援	230 件	223 件

② 介護支援専門員代表者会議の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
5 月 18 日 (木)	1) 地域ケア個別会議について 2) 令和 5 年度の連絡会・研修会について	熊山保健福祉 総合センター	9 人
8 月 29 日 (火)	1) 市内事業所連絡会について 2) 研修会開催について等	あかいわ ハートフル太陽	9 人
2 月 1 日 (木)	1) 市内連絡会について 2) 令和 6 年度 代表者について	山陽総合福祉 センター	7 人

③ 介護支援専門員連絡会・研修会の開催

月 日	内 容	場 所	参加者数
6 月 28 日 (水)	1) グループワーク「地域資源について」 2) 令和 5 年度の連絡会・研修会について等	中央図書館	31 人
10 月 6 日 (金)	「相談援助の基礎知識と事例検討の意義・目的 について」(講義及びグループワーク) 講師：田中 郁子 氏	赤磐市役所	40 人
12 月 14 日 (木)	民生委員とケアマネジャーとの情報交換会	赤坂健康管理 センター	30 人
12 月 19 日 (火)		中央公民館	72 人
1 月 16 日 (火)		吉井支所	30 人
1 月 23 日 (火)		熊山保健福祉 総合センター	35 人
3 月 15 日 (金)	「赤磐市の防災情報 要支援者について」 (講義及びグループワーク) 講師：赤磐市くらし安全課 危機管理班 班長 岩本 充彦 氏	中央図書館	32 人

4. 生活支援体制整備事業

(1) 生活支援サポーター養成事業の実施

① 生活支援サポーター養成講座の開催

月 日	内 容	場 所	受講者数
第1回 11月 8日(水)	「赤磐市の介護保険制度の理解」 「高齢者の特徴と注意点及び対応について」	吉井支所	4人
第2回 11月15日(水)	「活動するために知っておきたい知識①」		
第3回 11月22日(水)	「活動するために知っておきたい知識②」 「修了式」		

② 生活支援サポーターフォローアップ研修の開催

昨年度、既登録者を対象に、新たな活動へ参加を促していくことを目的に研修会を開催しており、検討の結果、今年度は既登録者への研修会は開催しないこととなりました。

また、現在活動中のサポーターのフォローアップについては、赤磐市シルバー人材センターと協議した結果、開催しないこととなり、引き続き検討することとなりました。

(2) 新しい社会資源の創出に向けた研究

総合相談業務や地域ケア個別会議等を通じて得られた地域課題について、生活支援コーディネーターと情報交換を行いました。

また、備前市三石地区 通所付添サポート事業・三石いきいき通所サポート隊活動視察に参加するとともに、高齢者の社会参加に関する事柄を中心に、通いの場などについて生活支援コーディネーターと情報交換を行い、新たな社会資源について検討しました。

月 日	場 所	内 容
6月14日(水)	山陽総合福祉センター	「第1回 地域福祉課（生活支援コーディネーター）との連絡会」 (高齢者の居場所や生きがい・役割の創出について)
12月 5日(火)	船坂自治公民館・三石公民館(備前市)	「備前市三石地区通所付添サポート事業・三石いきいき通所付添サポート隊活動視察」 1) 三石いきいき通所サポート隊活動同行・サロン見学 2) 情報交換
2月19日(月)	山陽総合福祉センター	「第2回 地域福祉課（生活支援コーディネーター）との連絡会」 1) 備前市三石地区通所付添サポーター事業視察についての報告 2) 赤磐市で必要とされている移動支援・通いの場について等

5. 認知症総合支援事業

(1) 認知症相談支援体制の整備

① 認知症カフェの開催

認知症予防支援ボランティアと協働し、さまざまな高齢者が集える場として、「さんさんカフェ」(認知症カフェ)を定期的に開催するとともに、今年度はコロナを理由にこれまで控えていた参加者同士の積極的な交流を図ることを目指し、山陽地域以外で「さんさんカフェ」が開催できるよう企画・運営を進めてきました。

(山陽地域)

月 日	内 容	場 所	参加者数
4月13日(木)	歌唱、脳トレ、昔遊び等	中央図書館	28人
5月18日(木)	ハモニカ演奏及び歌唱、脱水予防について、昔遊び		31人
6月16日(金)	防災について		17人
7月27日(木)	ハモニカ演奏、フレイル予防、脳トレ等		19人
8月17日(木)	脳トレ体操、腹話術、フレイル予防		18人

月 日	内 容	場 所	参加者数
9月21日(木)	終活講座	中央図書館	17人
10月20日(金)	脳トレ、回想法、レクリエーション等		13人
11月16日(木)	岡山弁トランプ、折り紙、ストレッチ体操等		20人
12月14日(木)	歌、昔遊び、プチ講座等		19人
1月18日(木)	ビンゴ大会、しの笛演奏、フラダンス、プチ講座		48人
2月1日(木)	終活講座、体操		35人
3月28日(木)	昔遊び、体操、プチ講座		24人

(赤坂・熊山・吉井地域)

月 日	内 容	場 所	参加者数
10月11日(水)	さんさんカフェ in 福田	赤磐市福田会館	17人
10月16日(月)	さんさんカフェ(くまカフェ)	熊山英国庭園	35人
10月24日(火)	さんさんカフェ in 西軽部新公民館	西軽部新公民館	45人
3月5日(火)	さんさんカフェ in 仁美	仁美農村振興センター	30人
3月13日(水)	さんさんカフェ(くまカフェ)	熊山保健福祉総合センター	15人

② 認知症地域支援推進員研修への職員派遣

認知症施策担当職員1人を認知症地域支援推進員として配置し、認知症地域支援推進員研修(現任者研修)やその他関連の研修への派遣を行いました。

③ 認知症初期集中支援チーム員会議の開催

月 日	内 容	場 所
7月31日(月)	支援計画及び支援内容についての検討 (新規1事例・評価1事例)	山陽産業会館
10月31日(火)		
12月20日(水)	支援計画及び支援内容についての検討 (新規1事例・評価2事例)	
3月12日(火)		

④ 認知症初期集中支援チーム員研修への職員派遣

今年度、2人の職員が認知症初期集中支援チーム員研修(オンライン)を受講し、修了しました。

6. 地域ケア推進事業

(1) 地域ケア個別会議の開催

主に要支援者等の自立支援ケアマネジメント促進に向けた支援のあり方を検討する「自立支援型」と支援に困難を抱える事例を検討する「困難事例検討会議」を開催しました。

種 別	開催回数	検討した事例数	検討内容
地域ケア個別会議 【自立支援型】	12回	新規検討事例：23事例 評価報告事例：19事例	1) 利用者の自立支援について 2) 事例を通して考えられる地域課題について
困難事例検討 会議 ※	5回	新規検討事例：5件	1) さまざまな困難を抱える事例の相談支援について 2) 支援者が困難を感じている事例について

※ 困難事例検討会議のうち、1回は講師(スーパーバイザー)を招き、赤磐市内の居宅介護支援事業所の介護支援専門員数名に声をかけて開催しました。

(講師) 津山市子ども保健部 健康増進課 保健師 本干尾 八州子 氏

(2) 新しい社会資源の創出に向けたニーズの把握

上述の地域ケア個別会議では、地域の医療・介護関係者をアドバイザーとして話し合いを進め、地域の高齢者が抱える課題の把握を行いました。

7. 任意事業

(1) 家族介護支援事業の実施

① 介護教室の開催

在宅等で介護するかたや介護に関心のあるかたを対象に、介護に関する知識や技術の習得、介護者自身の健康維持を目的とした「介護教室」を定期的に企画し、開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月 9日 (金)	「フレイル予防」 講師：健康運動指導士 高見 博子 氏	中央図書館	20人
9月 26日 (火)	「オーラルフレイル予防について」 講師：一般社団法人 岡山県歯科衛生士会 歯科衛生士 杉山 珠美 氏		16人
12月 20日 (金)	「高齢者の栄養について」 講師：赤磐市健康増進課 管理栄養士 佐々木 氏 栄養委員		15人
3月 13日 (水)	「認知症かなと思ったら～認知症の基礎知識～」 講師：赤磐市地域包括支援センター職員		18人

② 介護者のつどいの開催

在宅等で介護するかたが集い、介護に関する意見・情報交換や互いの介護に対する思いを共有することで互いに支えあう活動を目指して「介護者のつどい」を開催しました。

月 日	内 容	場 所	参加者数
4月 19日 (水)	意見・情報交換、地域包括支援センターからの 情報提供	中央図書館	3人
5月 24日 (水)			6人
7月 19日 (水)			3人
8月 23日 (水)			4人
10月 27日 (水)			4人
1月 17日 (水)			3人

※ 11月 22日 (水) ・ 2月 28日 (水) 参加者数：0人

(2) 認知症サポーター養成事業

重点事業

① 認知症サポーター養成講座の開催

認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成するために、認知症サポーター養成講座を開催しました。

月 日	対 象 者	受講者数
5月 16日 (火)	山陽地区民生委員・児童委員及び福祉推進員	87人
5月 31日 (水)	9期生 介護予防支援ボランティア	18人
7月 6日 (木)	ふれあい・いきいきサロン (西山団地)	28人
7月 21日 (金)	赤磐市職員	17人
7月 24日 (月)		
9月 26日 (火)	熊山地区民生委員・児童委員	22人
10月 10日 (火)	ふれあい・いきいきサロン (惣分)	9人
10月 11日 (水)	山陽2丁目山彦会	33人
11月 7日 (火)	明治安田生命	37人
2月 26日 (月)	シニアサークル「わかいわ」	16人
2月 28日 (水)	ふれあい・いきいきサロン (西軽部)	25人

② キャラバン・メイト連絡会の開催及び活動支援

月 日	内 容	場 所	参加者数
6月30日(金)	1) 活動報告 2) 今年度の活動について	中央公民館	13人
3月7日(木)	1) 今年度の活動について 2) 今後の活動について 3) キャラバン・メイト通信の作成について		13人

③ チームオレンジに関する検討実施【新】

チームオレンジに関する情報提供等を行いながら、認知症の当事者が安心して思いを話せるような居場所づくりを目指し、本人ミーティングを開催しました。

また、認知症当事者の活動理解のため、備前市に視察研修に行ったり（10月18日）、岡山県子ども・福祉部長寿社会課主催の本人ミーティング研修やチームオレンジ研修へ職員を派遣したりし、本人ミーティングやチームオレンジの設置に向けて検討しました。

(本人ミーティング)

月 日	内 容	場 所	参加者数
10月27日(金)	第1回 本人ミーティング (認知症当事者：1人・家族：1人)	あかいわ ほほえみ プラザ	2人
3月12日(火)	第2回 本人ミーティング (認知症当事者：1人・家族：2人)		3人

(研修)

月 日	内 容	形 式	参加者数
10月30日(月)	本人ミーティング研修	オンライン	2人
3月7日(木)	チームオレンジ研修		2人

(3) 成年後見制度利用支援事業

① 市民後見人養成講座の開催

今年度は市民後見人希望者がおらず、市民後見人養成講座の開催はありませんでした。

② 市民後見人連絡会の開催及び活動支援

月 日	内 容	場 所	参加者数
7月25日(火)	市民後見人連絡会 1) 令和4年度 市民後見人養成事業実施報告 2) 令和5年度 事業実施計画について	山陽総合福祉 センター	6人
11月20日(月)	市民後見人連絡会 1) 活動ケースの発表・検討等(意見交換) 2) 令和5年度 市民後見人の活動について		6人
11月27日(火)	成年後見制度啓発活動 (店舗入口にて来客者にチラシ等を配布)	マルナカ山陽店	3人
2月15日(木)	生活支援員及び市民後見人合同研修会 「意思決定支援について考える」 講師：ノートルダム清心女子大学 人間生活学科 准教授 濱崎 絵梨 氏	山陽総合福祉 センター	4人

8. 地域包括支援センターの体制整備

(1) 職員の専門性の向上に向けた内部研修の開催及び各種研修会への派遣

職員の専門的技術や知識・向上のため、内部研修を定期的実施するとともに、外部研修への派遣を行いました。

区 分	研 修 内 容
内部研修	新任者研修 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントについて 成年後見制度について等
外部研修	相談援助技術研修 高齢者虐待対応現任者研修 認知症初期集中支援チーム員研修 チームオレンジ研修等

(2) センターの業務体制の整備（業務分担及び地区分担について）

業務分担及び地区分担について検討し、センターの業務体制の整備に努めました。

9. 介護予防支援事業

(1) 介護予防支援事業所の運営

(平均利用者数と合計利用者数)

(単位：人)

事業所	類 型	令和5年度		前年度	
		月平均	年合計	月平均	年合計
地域包括支援 センター	介護予防支援	240	2,875	260	3,124
	介護予防ケアマネジメントA	76	910	89	1,073
	介護予防ケアマネジメントB	10	117	10	121
	小計(①)	325	3,902	359	4,318
委託先事業所	介護予防支援	113	1,351	103	1,239
	介護予防ケアマネジメントA	21	248	20	242
	介護予防ケアマネジメントB	0	4	0	4
	小計(②)	134	1,603	123	1,485
全 体	合 計 (①+②)	459	5,805	482	5,803



IV. 介護保険課

1. 介護事業の長期的視野に立った健全経営

(1) 居宅介護支援（ケアプラン）事業

◆あかいわ社協居宅介護支援事業所の経営

要援護者（要介護者・要支援者）が自立した生活が送れるよう介護保険の利用をサポートし、ケアプラン（居宅サービス計画）を作成する事業所です。

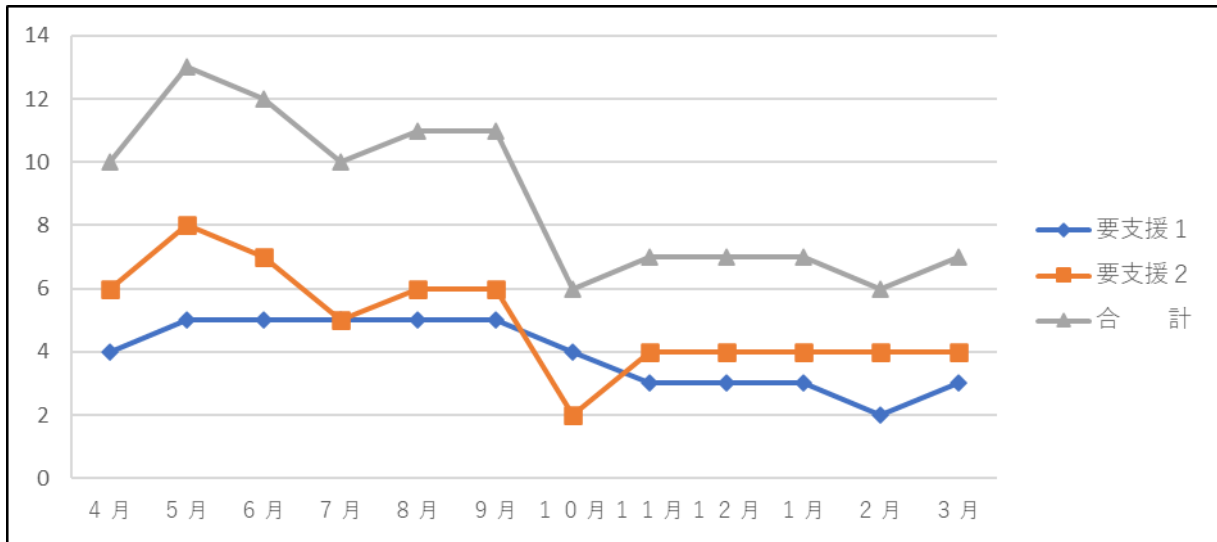
場 所	事業形態	事業所名
赤坂福祉サービスセンター春の家	指 定 管 理	あかいわ社協居宅介護支援事業所

① 介護予防サービス計画作成

市受託事業

・実利用者数の月別推移（単位：人）

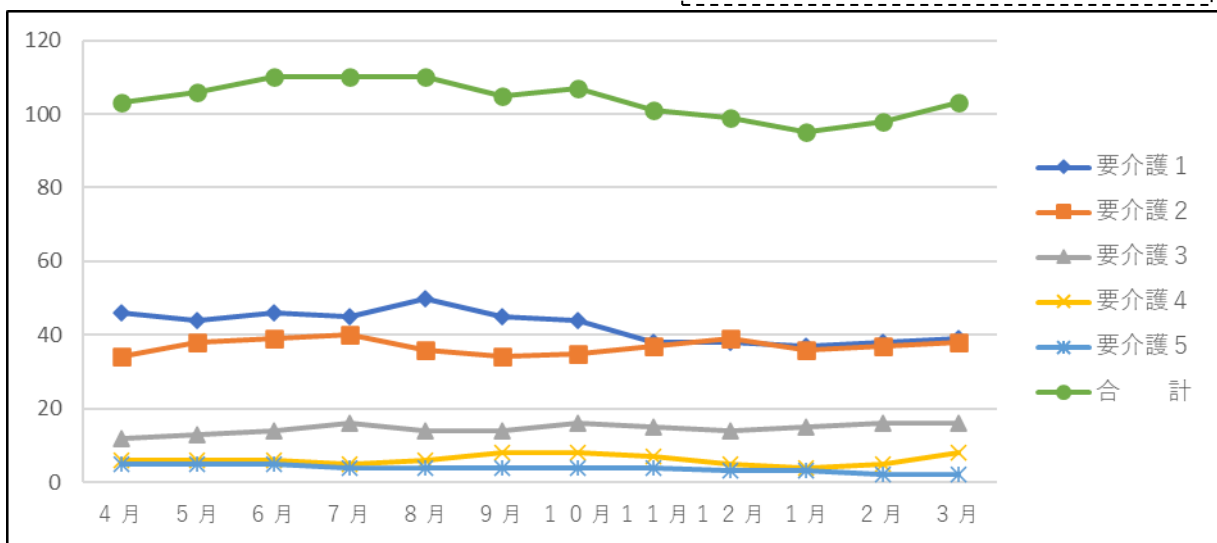
※ 介護予防支援事業受託金：494千円



② 居宅介護支援事業

・実利用者数の月別推移（単位：人）

※ 居宅介護支援介護料：18,446千円



③ 平均利用者数と合計利用者数

(単位:人)

居宅介護支援事業		令和5年度		前年度	
		月平均	年合計	月平均	年合計
介護予防 (市受託事業)	要支援1	3.9	47	3.9	47
	要支援2	5	60	7.8	93
	合計	8.9	107	11.7	140
介護保険	要介護1	42.5	510	44.3	531
	要介護2	36.9	443	32.7	392
	要介護3	14.6	175	13.8	166
	要介護4	6.2	74	3.6	43
	要介護5	3.8	45	4.4	53
	合計	103.9	1,247	98.8	1,185

- ④ 職員体制 4人 : 主任ケアマネジャー 2人、ケアマネジャー 2人 *令和5年12月まで
 3人 : 主任ケアマネジャー 1人、ケアマネジャー 2人 *令和6年1月から

⑤ 介護支援専門員の育成強化

- ・岡山県介護支援専門員 専門・更新(就業者向け)研修 2名参加
- ・岡山県主任介護支援専門員更新研修 1名参加

⑥ 特定事業所加算の取得

- ・特定事業所加算の取得状況
 特定事業所加算(Ⅲ) 309単位/月

(2) 通所介護事業

◆山陽デイサービスセンターの経営

◆春の家デイサービスセンターの経営

入浴や食事提供、健康チェック、機能訓練など日帰りのサービス提供を行う事業所です。

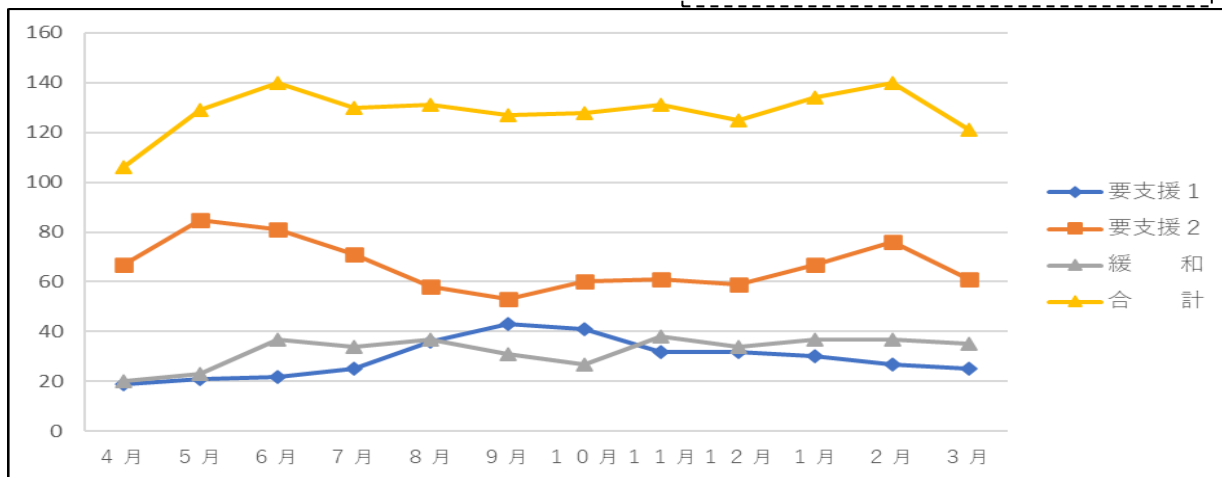
場 所	事業形態	事業所名
山陽総合福祉センター	指定管理	山陽デイサービスセンター
赤坂福祉サービスセンター春の家	指定管理	春の家デイサービスセンター

① 介護予防・日常生活総合事業(緩和した基準による通所サービスを含む)

- ・延利用者数の月別推移(単位:人)

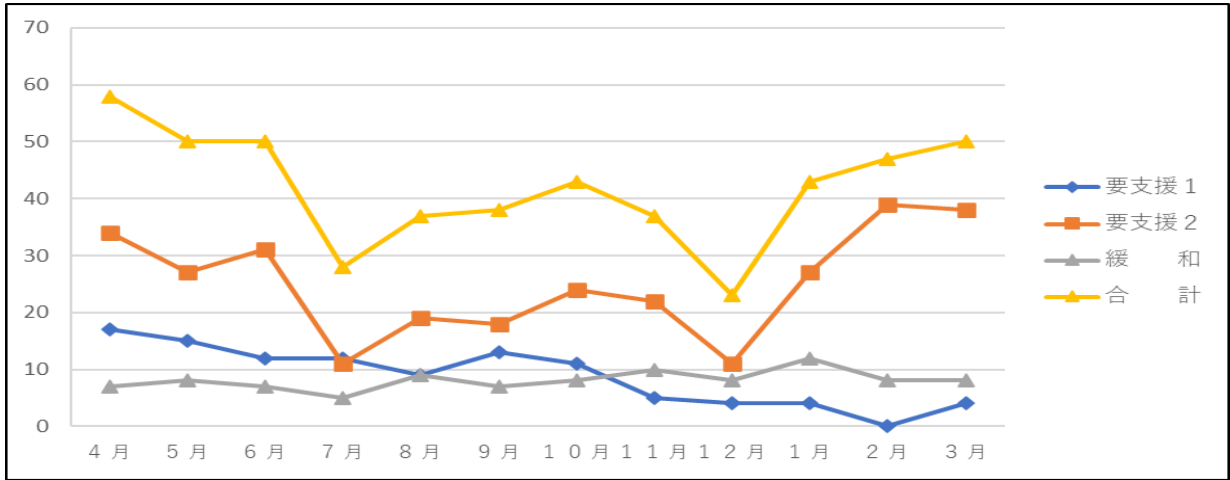
<山陽デイサービスセンター>

※ 介護報酬請求分: 7,474千円
 個人負担金分: 950千円



<春の家デイサービスセンター>

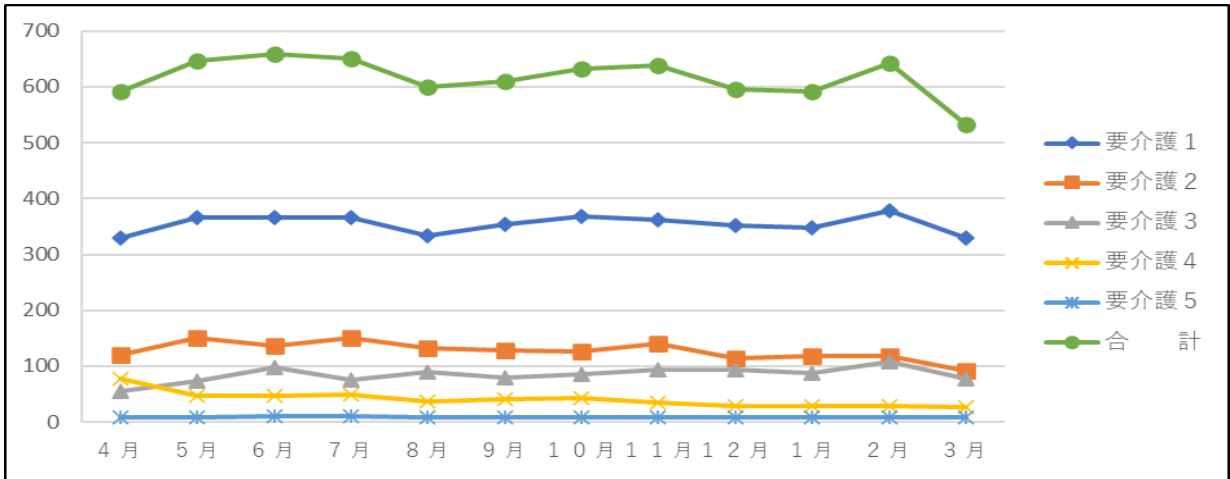
※ 介護報酬請求分：2,140 千円
個人負担金分：239 千円



② 通所介護

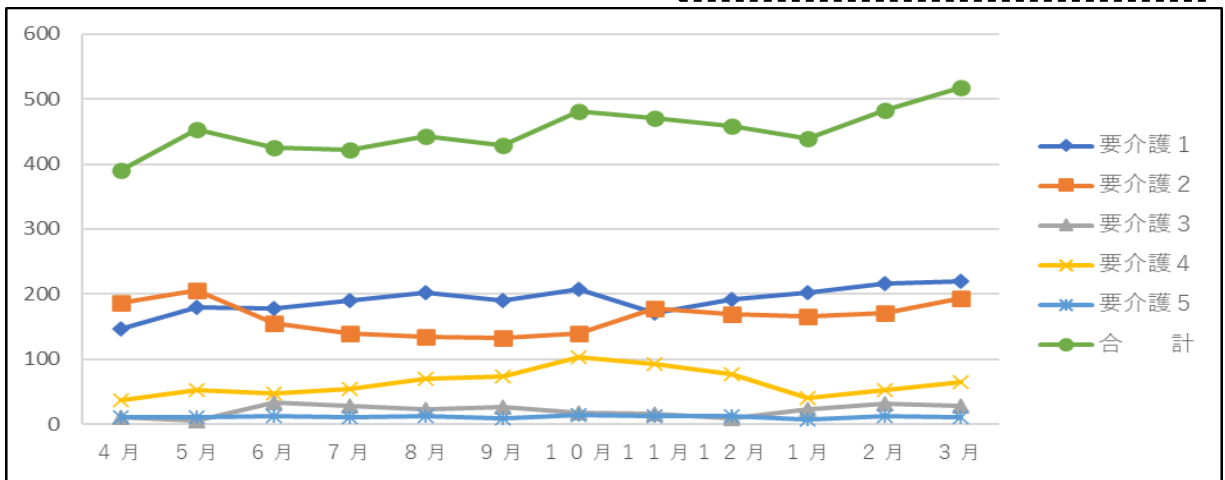
・延利用者数の月別推移 (単位：人)
<山陽デイサービスセンター>

※ 介護報酬請求分：51,739 千円
個人負担金分：6,584 千円



<春の家デイサービスセンター>

※ 介護報酬請求分：38,431 千円
個人負担金分：4,454 千円



③ 通所介護事業所稼働率

内 容	山 陽		春の家	
	令和5年度	前年度	令和5年度	前年度
稼働率	76.6%	74.4%	77.7%	72.7%

④ 介護保険事業

・月平均利用者数及び延利用者数合計

(単位：人)

通所介護	月平均利用者数				延利用者数			
	山陽	春の家	合計	前年度	山陽	春の家	合計	前年度
緩和型	8.3	2.1	10.4	5.2	390	97	487	222
要支援1	8.3	2.4	10.7	14.2	353	106	459	664
要支援2	10.8	3.8	14.6	20.5	799	301	1,100	1,640
要介護1	36.0	18.7	54.7	49.5	4,253	2,295	6,548	5,694
要介護2	12.1	15.2	27.3	23.9	1,529	1,971	3,500	3,183
要介護3	8.8	2.5	11.3	10.6	1,018	251	1,269	1,450
要介護4	3.4	4.9	8.3	8.1	484	763	1,247	1,037
要介護5	1.3	1.0	2.4	3.7	106	131	237	409
合計	88.9	50.5	139.4	135.7	8,932	5,915	14,847	14,279

⑤ 事業の収益性の確保と経営の効率化

重点事業

前年度と比較して利用者の増加はみられましたが、収支バランスは悪化にあります。引き続き、より効率的な運営を目指して参ります。

⑥ 各種加算取得に向けての体制整備

認知症加算（山陽デイサービスセンターのみ）、サービス提供体制強化加算等各種加算を取得して運営を行いました。

⑦ デイサービスセンターの今後運営についての検討

両事業所ともに職員不足や高齢化に伴う職員の負担が増大しており、パート介護員の増員が急務となっています。山陽デイサービスセンターの土曜日営業の継続について、介護保険等事業部会で検討を行いました。

(3) 訪問介護事業

◆あかいわ社協ホームヘルプステーションの経営

訪問介護員（ヘルパー）が家庭を訪問し、生活援助（調理、掃除、洗濯など）や身体介護（排泄、食事、入浴介助など）の援助を行う事業所です。

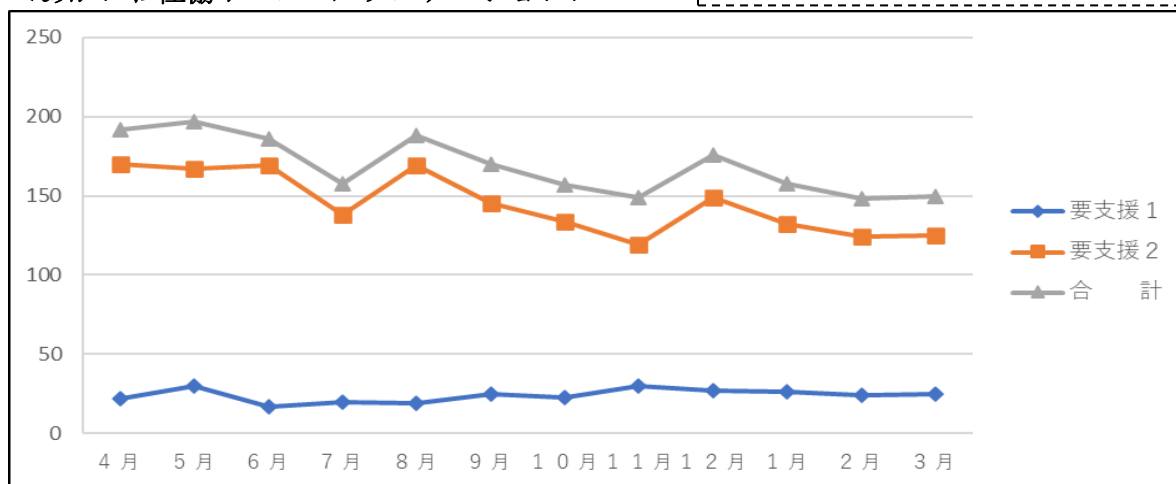
区分	事業所名	事業形態
事業所	あかいわ社協ホームヘルプステーション	指定管理
出張所	さんようサテライト事業所 吉井サテライト事業所	—

① 介護予防・日常生活総合事業

・延利用者数の月別推移（単位：人）

<あかいわ社協ホームヘルプステーション>

※ 介護報酬請求分：5,865千円
個人負担金分：742千円

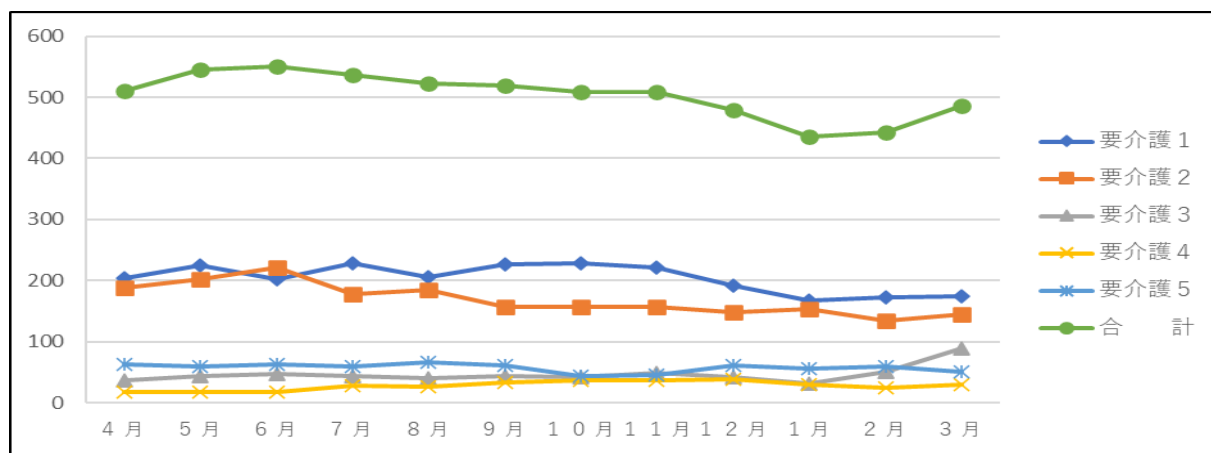


② 訪問介護

・延利用者数の月別推移（単位：人）

<あかいわ社協ホームヘルプステーション>

※ 介護報酬請求分：16,242 千円
個人負担金分：2,151 千円



③ 介護保険事業

・月平均利用者数及び延利用者数合計

(単位：人)

訪問介護	月平均利用者数		延利用者数	
	あか社HH	前年度	あか社HH	前年度
要支援1	5.9	5.2	288	298
要支援2	23.2	29.8	1,741	2,201
要介護1	19.8	25.2	2,447	3,656
要介護2	13.1	15.3	2,024	2,102
要介護3	3.1	5.2	555	839
要介護4	3.5	3.2	334	474
要介護5	1.0	2.9	688	1,232
合計	69.6	86.3	8,077	10,802

④ 訪問介護員の効率的な運用

本体事業所の登録ヘルパーについて、吉井サテライト事業所との兼務は出来ませんでした。仁堀地域までの訪問を調整することで支援体制の強化を図りました。

⑤ 登録ヘルパーの確保

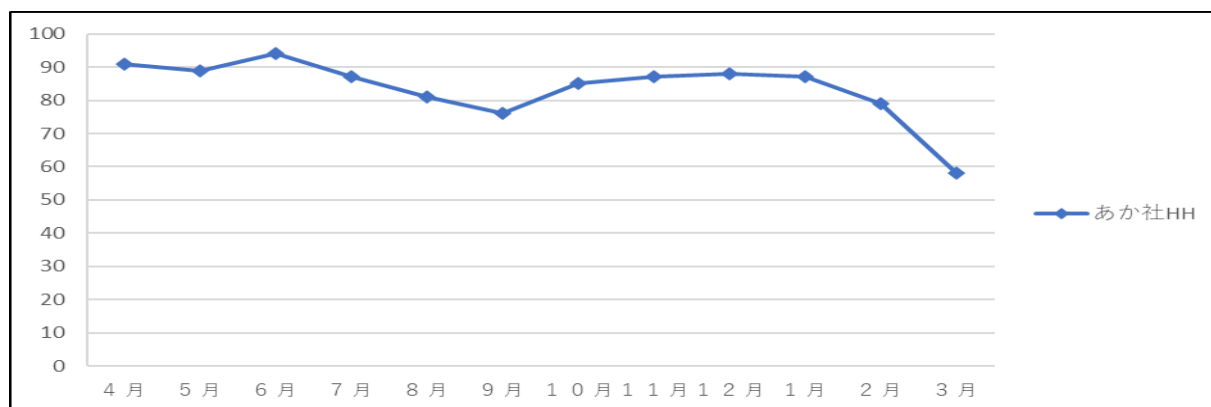
登録ヘルパーへの応募が2件ありましたが、2名とも70歳を超えており、身体介護を含むサービス提供が難しいことと長期的な雇用が見込めないため、採用に至りませんでした。

(4) 障害者総合支援法による居宅サービス提供事業

① 居宅介護事業（障害者ホームヘルプ事業）

・延利用者数の月別推移（単位：人）

※ 介護給付金分：3,428 千円
個人負担金分：14 千円



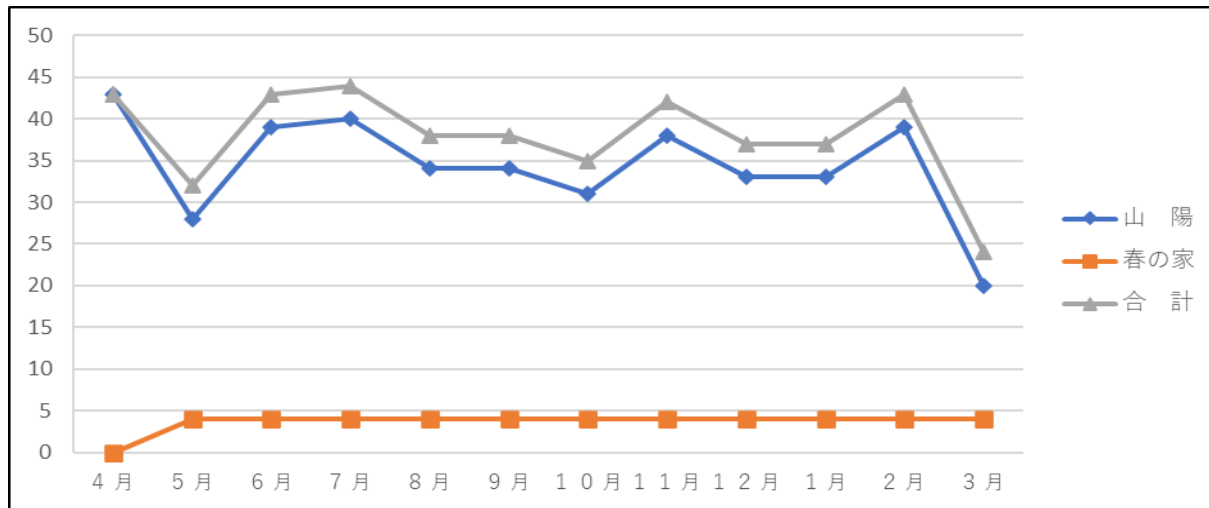
・月平均利用者数及び延利用者数合計 (単位：人)

月平均利用者数		延利用者数	
あか社HH	前年度	あか社HH	前年度
10.2	11.1	1,002	1,152

② 基準該当生活介護事業（障害者デイサービス事業）

※ 介護給付金分：3,287 千円
個人負担金分：0 千円

・延利用者数の月別推移（単位：人）



・月平均利用者数及び延利用者数合計 (単位：人)

月平均利用者数				延利用者数			
山陽	春の家	合計	前年度	山陽	春の家	合計	前年度
4.1	0.9	5.0	3.1	412	44	456	390

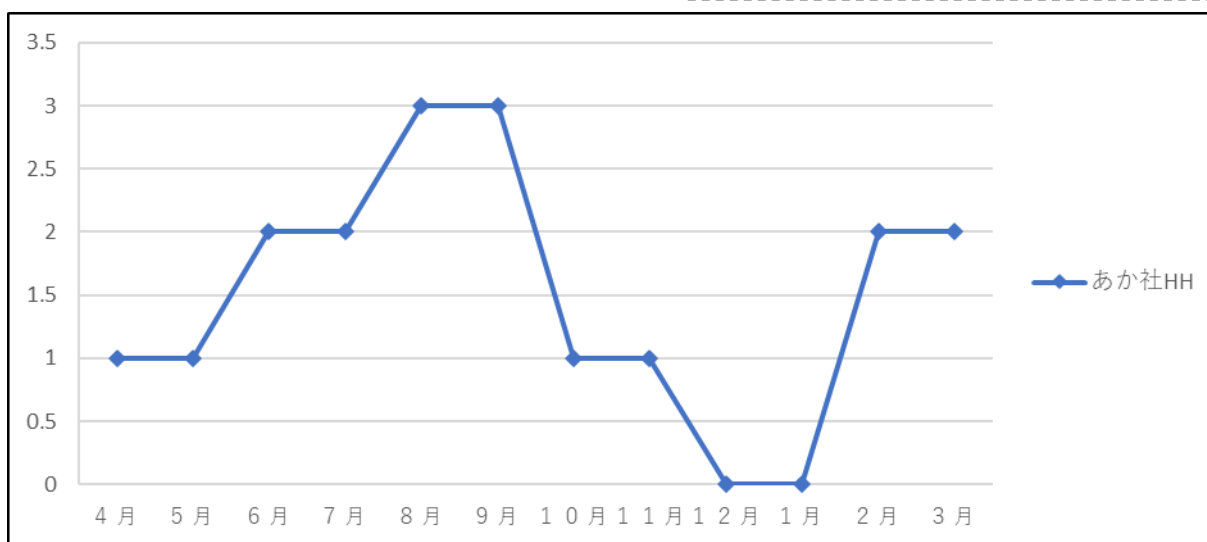
(5) 市受託事業

市受託事業

① 地域生活支援事業（移動支援事業）

※ 移動支援事業：124 千円

・延利用者数の月別推移（単位：人）



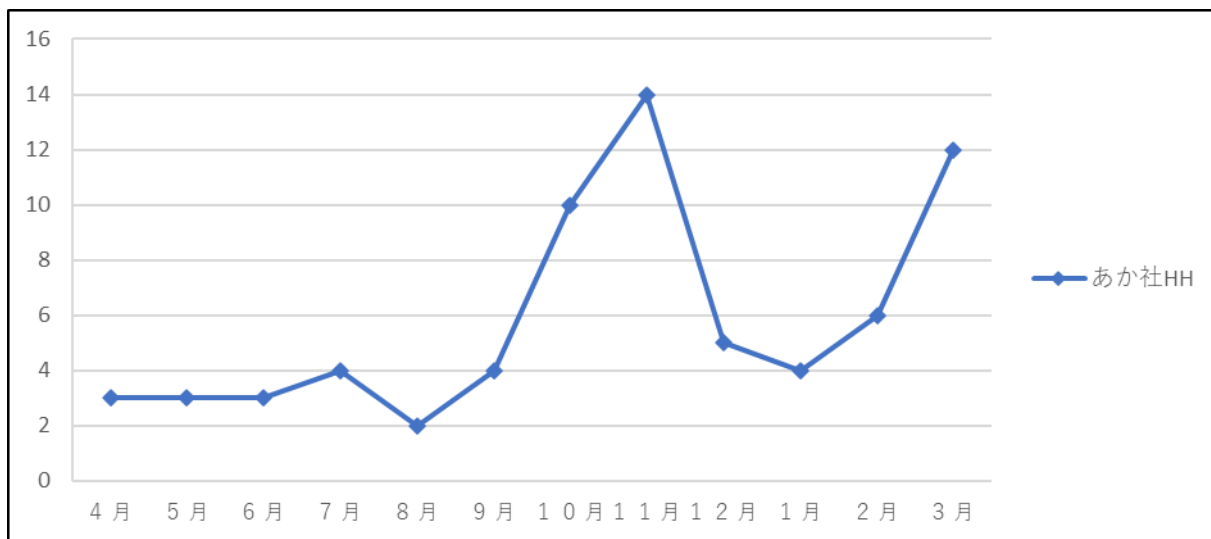
・月平均利用者数及び延利用者数合計 (単位：人)

月平均利用者数		延利用者数	
あか社HH	前年度	あか社HH	前年度
1.0	1.1	18	38

(6) 生活サポートあんど事業 (自費ヘルパー)

※ 利用料収入：118 千円

① 延利用者数の月別推移 (単位：人)



② 月平均利用者数及び延利用者数合計 (単位：人)

月平均利用者数		延利用者数	
あか社HH	前年度	あか社HH	前年度
3.1	3.6	70	78

(7) 各事業の総括

① 居宅介護支援事業所

令和5年12月までは主任ケアマネ2名、ケアマネ2名の4人体制、令和6年1月からは主任ケアマネ1名、ケアマネ2名の3人体制で運営を行いました。職員減に伴い介護予防サービス計画の受入調整を行いながら、通年で特定事業所加算(Ⅲ)を取得しました。

収支状況は、特に収入に占める人件費比率が120%を超え、職員一人あたりの居宅サービス計画書平均作成件数は30件と低い水準となりました。今後は、職員体制に見合った計画件数となるよう運営を行って参ります。

② 通所介護事業所

サービス内容について、利用者に少しでも喜んでもらえるよう季節の行事や岡山市内・赤磐市内へのドライブを実施する等、山陽デイサービスセンター、春の家デイサービスセンターともに利用者が微増したこともあり、収入は前年度を上回りましたが、それ以上に人件費支出が増える結果となり、大幅な赤字となりました。

指定管理期間の最終年度となる令和6年度は、市内サービスの総量的な調査研究等を行い、既存施設のより有効な活用、今後の方向性を部会組織等で十分検討していく必要があります。

③ 訪問介護事業所

本体事業所(赤磐市町苅田)及び2つのサテライト事業所(赤磐市河本、赤磐市周匝)で運営を行いました。

登録ヘルパーの減少により、訪問スタッフの調整に支障をきたし、訪問依頼があっても対応できないケースがある為、利用者数が大幅に減少しています。また、吉井地域では利用者宅までの移動距離が長く、ヘルパーの訪問件数が制限される中、昨年度より収入が大きく落ち込み、最低賃金額の改正等により人件費は増大し大幅な赤字となりました。今後、本体事業所とサテライト事業所間で訪問スタッフの調整を図り、より効率的な訪問が行えるように運営を行って参ります。

2. サービスの質の向上

(1) サービスの質の向上に向けた取り組み

① 各事業所の年間研修計画の作成・実施

サービスの質の向上を図るために、職員に研修への参加を推進しています。専門知識を高めるために引き続き専門的研修への参加を促進して参ります。

② 定期的な顧客満足度調査の実施

通所介護事業利用者及び訪問介護事業利用者へのアンケート調査を実施いたしました。

③ 新型コロナウイルス等感染防止対策の実施

利用者や職員に対して感染症予防について周知、健康管理及び、施設内の消毒作業を入念に行いました。

令和6年3月に山陽デイサービスセンターで複数の感染性胃腸炎症状の発生が見られた際には、感染拡大を防止するために3日間の営業を停止行いました。

④ 利用者・ケアマネニーズ調査結果の精査及び対策

山陽デイサービスセンター土曜日利用者に土曜日休業に対する意向調査を行い、その結果をケアマネへ報告し、利用日の調整について準備を進めました。

3. 介護事業を担う人材育成

(1) 情報共有の徹底

① ICT機器（タブレット）の活用

ICT機器（タブレット）を日常業務において活用するとともに、オンライン研修の視聴等にも活用しました。

② 管理者全体会の開催（横の連携強化）

令和5年5月26日に開催し、各事業所間の連携強化を図りました。

(2) 人材育成

① 目標・キャリアパスを描きやすい仕組みづくり

個別に研修計画を作成し、個々の達成課題や習得したい知識・技術等を具体的にすることで、個人の目標・キャリアパスを描きやすい仕組みづくりに努めました。

また、研修計画を参考に介護保険課で研修会を企画しました。

② 介護現場でのマネジメント力・サポート力の向上促進

事業所ごとに毎月職員会議を開催し、職員全員で課題解決を図る体制を整えました。

③ 研修参加促進

・介護保険課主催の研修会

月 日	研 修 内 容	対 象	参加人数
第1回 10月 4日(水)	交通安全研修	通所介護事業所運転員	4人
第2回 10月 20日(金)	認知症ケア研修	介護保険事業所職員	24人
第3回 11月 22日(水)	腰痛予防対策研修	介護保険事業所職員	26人

・専門的研修等への参加

専門知識を高めるために各種研修への参加を促進いたしました。

<居宅介護支援事業所>

医療・介護関係者のための「ACP 研修」
令和5年度中国ブロック研究大会
ケアマネジメント実践報告研修会
第2回赤磐市地域別（合同）介護支援専門員連絡会
第5回ケアマネジャー大会

<通所介護事業所>

令和5年度岡山県認知症介護基礎研修
令和5年度備前保健所管内給食施設従事者研修
赤磐市介護予防・日常生活支援総合事業「基準緩和型通所サービス」基本プログラム研修

<訪問介護事業所>

認知症の方への介護技術（動画配信セミナー）
熱中症対策研修
とろみを使った嚥下についての研修
医療・介護関係者のための「ACP 研修」
介護労働者雇用管理責任者研修
権利擁護研修会
介護技術基礎
介護技術・トランスファー・移動移乗介助
コーチング研修
法改正セミナー
口腔ケア
東備地域の「にも包括」を考える



V. 総務課

1. 組織の基盤・体制強化

(1) 法人の運営

① 正副会長会

月 日	主要付議事項	出席者数
第1回 5月29日(月)	1) 第2回理事会(6月6日開催)及び第1回定時評議員会(6月26日開催)への提出議題等について 2) 資金運用状況及び運用計画について 3) 令和4年度地域福祉活動基金事業報告及び決算報告について 4) 令和5年度ふれあい見守りネットワーク活動申請状況について 5) 令和5年度地区社会福祉協議会設置促進計画及び活動スケジュールについて 6) 令和5年度赤磐市戦没者追悼式について	会 長 1人 副会長 2人
第2回 12月20日(水)	1) 赤磐市への本会の今後の対応について	会 長 1人 副会長 2人
第3回 3月4日(月)	1) 生活困窮者援護支援貸付事業における徴収不能者について 2) 山陽デイサービスセンター土曜日休業に向けて 3) 介護職員等ベースアップ等支援加算の取得について 4) 第6回理事会(3月12日開催)及び第3回評議員会(3月25日開催)への提出議題等について 5) 介護保険事業状況報告 6) 赤磐市議会厚生文教常任委員会(2月19日)への参考人出席報告 7) 社協補助金における赤磐市対応について(凍結等) 8) パワーハラスメント実態調査結果について 9) 令和6年度人事異動内示について	会 長 1人 副会長 2人
第4回 3月18日(月)	1) 職員人事異動について	会 長 1人 副会長 2人

② 理事会

月 日	主要付議事項	出席者数
第1回 4月10日(月)	1) 赤磐市社会福祉協議会第三者委員会調査報告 2) 第三者委員会報告書の公表について	理 事 9人 監 事 2人
第2回 6月6日(火)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告(令和4年度補正予算[第9号]) 3) 令和4年度事業報告及び決算報告 4) 評議員候補者の推薦 5) 定時評議員会に諮る役員候補者の選定 6) 令和5年度補正予算[第1号](案) 7) 処遇改善手当等の返還について 8) 育児・介護休業に関する規則の一部改正(案) 9) あかいわ社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正(案) 10) あかいわ社協ホームヘルプステーション運営規程の一部改正(案) 11) 山陽デイサービスセンター運営規程の一部改正(案) 12) 春の家デイサービスセンター運営規程の一部改正(案) 13) あかいわ社協ホームヘルプステーション(居宅介護)運営規程の一部改正(案) 14) 令和5年度第1回定時評議員会の開催	理 事 10人 監 事 2人

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
	15) 資金運用状況及び運用計画について 16) 令和5年度ふれあい見守りネットワーク活動申請状況について 17) 令和5年度地区社会福祉協議会設置促進計画及び活動スケジュールについて 18) 令和5年度赤磐市戦没者追悼式について 19) 生活福祉資金調査委員会委員の選定について	
第3回 6月26日(月)	1) 会長及び副会長の選任 2) 評議員選任・解任委員会委員の選任 3) 部会員等の互選 4) 生活福祉資金調査委員会委員の選任	理 事 12 人 監 事 2 人
第4回 10月10日(火)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告（令和5年度補正予算〔第2号〕） 3) 令和5年度補正予算〔第3号〕（案） 4) 生活福祉資金（福祉資金）の見直しに関する要望書（案）について 5) 総務部会（9月25日開催）報告 6) 介護保険等事業部会（9月20日開催）報告 7) 職員のモチベーション向上対策（案）について 8) 介護保険事業所の今後の方向性（案）について 9) 生活支援コーディネーター業務について 10) ひきこもり支援ステーション事業の受託実施（案）について 11) 令和5年度新規事業及び重点事業等の進捗状況について 12) 令和5年度住民会員加入状況 13) 令和5年度介護保険事業実施状況 14) 職員採用について	理 事 11 人 監 事 2 人
第5回 1月23日(火)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告 （職員給与規程の一部改正及び令和5年度補正予算〔第4号〕） 3) 令和5年度補正予算〔第5号〕（案） 4) あかいわ社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正（案） 5) あかいわ社協ホームヘルプステーション運営規程の一部改正（案） 6) あかいわ社協ホームヘルプステーション（居宅介護）運営規程の一部改正（案） 7) 山陽デイサービスセンター運営規程の一部改正（案） 8) 春の家デイサービスセンター運営規程の一部改正（案） 9) 令和5年度第2回評議員会の開催について 10) 総務部会（12月22日開催）報告 11) 介護保険等事業部会（12月20日開催）報告 12) 職員モチベーション向上対策（案）における具体案について 13) 介護保険事業の今後について 14) 中間監査報告について 15) 令和6年度赤磐市社会福祉協議会補助金・受託金予算要求状況について 16) 令和5年度介護保険事業実施状況 17) 支え合いの地域づくり講演会について 18) 居住支援事業準備委員会報告について	理 事 11 人 監 事 2 人

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 6 回 3 月 12 日 (火)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告 (令和 5 年度補正予算 [第 6 号]) 3) 令和 5 年度補正予算 [第 7 号] (案) 4) 役員等賠償責任保険契約の締結について 5) 事務局規程の一部改正 (案) 6) 就業規則の一部改正 (案) 7) 臨時的雇用職員の任用、給与、勤務時間その他勤務条件に関する規程の一部改正 (案) 8) 職員給与規程の一部改正 (案) 9) あかいわ社協居宅介護支援事業所運営規程の一部改正 (案) 10) 赤磐市地域包括支援センター指定介護予防・介護予防ケアマネジメント事業運営規程の制定 (案) 11) 令和 5 年度第 3 回評議員会の開催 12) 山陽デイサービスセンター土曜日休業に向けて 13) 介護職員等ベースアップ等支援加算の取得について 14) 介護保険事業状況報告 15) 「パワーハラスメント実態調査」アンケート結果について	理 事 11 人 監 事 2 人
第 7 回 3 月 18 日 (月)	1) 運転資金積立預金の取崩しについて 2) 令和 6 年度事業計画 (案) 3) 令和 6 年度資金収支予算 (案)	理 事 10 人 監 事 2 人

③ 評議員会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第 1 回 6 月 26 日 (月)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告 (令和 4 年度補正予算 [第 9 号]) 3) 令和 4 年度事業報告及び決算報告 4) 理事候補者の選任について 5) 監事候補者の選任について 6) 令和 5 年度補正予算 [第 1 号] (案) 7) 処遇改善手当等の返還について 8) 令和 5 年度ふれあい見守りネットワーク活動助成金申請状況について 9) 令和 5 年度地区社会福祉協議会設置促進計画及び活動スケジュールについて 10) 令和 5 年度 赤磐市戦没者追悼式について	評議員 19 人 会 長 1 人 副会長 2 人 監 事 2 人
第 2 回 1 月 31 日 (水)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告 (令和 5 年度補正予算 [第 2 号] 及び [第 4 号]) 3) 令和 5 年度補正予算 [第 3 号] (案) 4) 令和 5 年度補正予算 [第 5 号] (案) 5) 中間監査報告について 6) 令和 5 年度介護保険事業実施状況 7) 介護保険事業の今後について 8) 地域包括支援センターの現状について 9) 職員モチベーション向上対策における具体策について 10) 居住支援事業準備委員会報告について 11) 令和 6 年度赤磐市社会福祉協議会補助金・受託金予算要求状況について	評議員 16 人 会 長 1 人 副会長 2 人 監 事 2 人

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第3回 3月25日(月)	1) 会長職務の執行状況 2) 専決事項の報告（令和5年度補正予算 [第6号]） 3) 令和5年度補正予算 [第7号]（案） 4) 令和6年度事業計画（案） 5) 令和6年度資金収支予算（案） 6) 介護保険事業状況報告 7) 山陽デイサービスセンター土曜日休業に向けて 8) 「職員モチベーション向上対策」検討結果について 9) 「パワーハラスメント実態調査」アンケート結果について	評議員 18人 会 長 1人 副会長 2人 監 事 2人

④ 評議員選任・解任委員会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
6月15日(木)	1) 評議員の補充選任について	委 員 4人 会 長 1人

⑤ 総務部会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第1回 9月25日(月)	1) 令和5年度新規事業及び重点事業等の進捗状況について 2) 職員採用について 3) 職員のモチベーション向上対策（案）について 4) 生活支援コーディネーター業務について（市受託5年目）	部会員 5人 会 長 1人
第2回 12月22日(金)	1) 職員モチベーション向上対策（案）における具体策について	部会員 6人 会 長 1人

⑥ 介護保険等事業部会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
第1回 9月20日(水)	1) 介護保険事業の現状について 2) 居宅介護支援事業所の今後について 3) 通所介護事業所の今後について 4) 訪問介護事業所の今後について	部会員 4人 会 長 1人
第2回 12月20日(水)	1) 社協が実施する介護事業の在り方・方向性について 2) 通所介護事業所の今後について 3) 居宅介護支援事業所の今後について 4) 訪問介護事業所の今後について 5) 地域包括支援センターの現状について	部会員 4人 会 長 1人

(2) 監査の実施

① 監事会

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
5月24日(水)	・令和4年度事業報告及び一般会計の監査	監 事 2人 会 長 1人
11月30日(木)	・令和5年度事業及び一般会計の中間監査	監 事 2人 会 長 1人

② 赤磐市財政援助団体監査

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
2月15日(木)	1) 令和5年12月末日までにおける赤磐市の助成金に係る出納、契約関係及びその他事務事業の監査 2) 令和5年12月末日までにおける山陽総合福祉センターの施設管理に係る出納、契約関係及びその他事務事業の監査	行政監査委員 2人 監査事務局担当者 2人 行政担当者 2人

(3) 苦情解決への取り組み

① 第三者委員会の開催

月 日	主 要 付 議 事 項	出席者数
7月19日(水)	1) 令和5年度事務局体制について 2) 苦情解決規程及び苦情解決体制等について 3) 苦情受付及び対応状況について	第三者委員 3人 会長 1人

② ポスターやホームページ等による苦情受付窓口の周知

市民や利用者等に対し、苦情受付窓口を明確にするため、各事務所及び事業所へポスターを掲示するとともに、ホームページ掲載の苦情受付窓口案内の内容更新を行いました。

(4) 財務諸表等の情報開示

① インターネット福祉・保健・医療総合サイト (WAM NET) を通じた情報開示

- ・現況報告書(令和5年4月1日現在)
- ・財務諸表(令和4年度)

(5) 社会福祉法人との地域における公益的な取組

① 赤磐市社会福祉法人連絡会の運営

・総会

月 日	内 容	出席者数
5月9日(火)	1) 令和4年度赤磐市社会福祉法人連絡会 事業報告について 2) 令和4年度赤磐市社会福祉法人連絡会 決算報告及び監査報告について 3) 令和5年度赤磐市社会福祉法人連絡会 事業計画(案)について 4) 令和5年度赤磐市社会福祉法人連絡会 収支予算(案)について 5) 赤磐市社会福祉協議会理事候補者の推薦について	会 員 10人 書面議決 4人

・役員会

月 日	内 容	出席者数
4月20日(木)	<正副会長会> 1) 令和4年度事業及び決算報告について 2) 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について 3) 赤磐市社会福祉協議会理事候補者の推薦について 4) 令和5年度総会(令和5年5月9日開催)提出内容について	連絡会 会 長 1人 副会長 1人
5月9日(火)	<監事会> 1) 令和4年度 事業報告について 2) 令和4年度 決算書類について 3) 書類精査	連絡会 監 事 2人 会 長 1人

② 赤磐市社会福祉法人連絡会における各部会の開催

・生活困窮者支援部会

月 日	内 容	出席者数
第1回 4月27日(木)	1) 令和4年度生活困窮者支援部会報告について 2) おうち片づけサポート事業試行実施の振り返りについて 3) 令和5年度生活困窮者支援部会事業について	連絡会 部会員 8人

月 日	内 容	出席者数
第 2 回 12月12日(火)	1) 令和5年度生活困窮者支援部会事業の実施状況について 2) しごとサポート事業「あかいわーく」に係る費用負担のあり方について 3) おうち片づけサポート事業の試行実施について 4) 令和6年度生活困窮者支援部会事業計画について	連絡会 部会員 8人

・地域づくり推進部会

月 日	内 容	出席者数
第 1 回 7月26日(水)	1) 地域公益活動実態調査報告（活動報告リレー） [報告者] 社会福祉法人岡山こども協会 さくらんぼ保育園園長 2) 赤磐市社会福祉法人連絡会活用サポートガイド（仮称）の作成について ・地域講師派遣事業また施設・備品等の各種貸出について ・配布先について	連絡会 部会員 12人
第 2 回 11月27日(月)	1) 地域公益活動実態調査報告（活動報告リレー） [報告者] 社会福祉法人赤磐中央福祉会 ケアハウスあかいわ主任 2) 赤磐市社会福祉法人連絡会活用サポートガイド（仮称）の作成について 3) 令和6年度地域づくり推進部会事業（案）について	連絡会 部会員 11人

・会議研修会等への参加

月 日	内 容	出席者数
6月15日(木)	第1回市町村域における社会福祉法人ネットワーク連携・協働促進会議 1) 岡山県内における市町村域の社会福祉法人ネットワークの現状と今後目指したいネットワークの姿 2) 各ネットワークからの取組紹介 3) グループワーク・意見交換 ①取組の現状整理を通して、活動を行う上での課題について考える ②ネットワーク活動の更なる活性化に向けての目標や計画の見立てができる	職 員 2人

(6) 組織体制等の基盤強化

重点事業

① 組織体制・事業運営体制（部門間連携）等の強化

社協事業及び各種受託事業の円滑な運営や、多岐にわたる業務に対応していくため、令和4年度より引き続き、「総務課」「地域福祉課」「生活支援課」「介護保険課」「地域包括支援センター」の『4課1センター』体制において、社協事業を推進しました。

また、必要に応じて、部署を超えた横断的な協議の場を設けるとともに、毎月開催の「課長会」において事業の執行状況等、幹部職員間での部門間の情報共有を徹底し、連携に努めました。

② 任期満了に伴う役員改選

役員（理事・監事）の任期が、令和6年度第1回定時評議員会（令和5年6月26日）終結の時をもって満了となることから、令和4年度末から令和5年度初めにかけて、役員候補者推薦母体に対し候補者の推薦依頼を行い、スムーズに新役員就任移行に繋がられるよう取り組みました。

（役員就任の承認は、令和5年6月26日開催の第1回定時評議員会主要付議事項参照）

③ コンプライアンス（法令遵守）の強化

社会福祉法人の社会的信用度向上や、重大な問題発生への事前防止策としての効果を目的に、経営の安定基盤の支えの一つとして、専門家（弁護士・社会保険労務士）より就業規則の見直しをはじめ、職員研修等のサポートを受けました。

④ 職員の資質向上及び人材育成（各種研修参加促進、リーダー等育成）

・役職員等研修会

月 日	内 容	出席者数
12月17日(日)	令和5年度 役員研修 1) 講演「地域共生社会で必要とされるボランティアの力」 講師 NPO 法人岡山 NPO センター 参画推進センター所長 西村 こころ 氏 2) 実践発表「地域が繋がり・支え合うための活動実践」 報告者 NPO 法人スマイル・ちわ 理事長 國米 彰 氏 [会 場] 赤磐市立中央図書館多目的ホール	理 事 11 人 監 事 2 人
2月19日(月)	令和5年度 虐待防止及び身体拘束等の適正化に係る研修 1) 講義「法の概要と虐待・身体拘束の定義 ～不適切なケアについて考える～」 講師 顧問弁護士 山下 忠弘 氏 2) 演習 グループワーク「不適切なケア」の改善に向けて出来る事 [会 場] 赤磐市山陽総合福祉センター	職 員 54 人 (内 zoom 参加 13 人)

・外部研修への参加促進

本会職員の資質と専門性の向上を目的に、事業を推進するうえで必要とする研修受講のため、勤務シフトの調整等を行い、研修に参加しやすい体制づくりに努め、事務局職員を対象に、岡山県社会福祉協議会が開催する下記研修へ出席しました。

月 日	内 容	出席者数
5月8日(月)	令和5年度 社協職員新任研修 1) 講義「地域福祉を推進する社協の役割について」 岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 2) 講義「社会福祉協議会とは」 3) 実践発表「社協職員としてのやりがい・醍醐味について」 (発表者：市町村社会福祉協議会先輩職員) 講師及びコーディネーター ノートルダム清心女子大学 准教授 中井 俊雄 氏 4) 社協職員仲間づくり・目標設定 [会 場] きらめきプラザ	職 員 2 人
7月31日(月)	令和5年度地域福祉実践研修【共通編】 1) 講義「社会福祉協議会の基本的理解」 2) グループワーク 「自分の市町村社協の理念や方針を踏まえて、自分の日頃の業務や活動を、社協活動5原則の視点で捉え直してみよう」 講師及びコーディネーター 美作大学 教授 小坂田 稔 氏 [会 場] きらめきプラザ	職 員 2 人
第1回 9月8日(金) 第2回 10月3日(火) 第3回 11月14日(火)	令和5年度地域福祉実践研修【基礎編】 第1回：1) 講義「地域の中での個別支援について考える」 2) 事例紹介・解説 第2回：1) 講義「個別支援から地域支援への展開について理解する」 2) 事例紹介・解説、グループワーク・意見交換 第3回：1) 講義「地域支援から個別支援への展開について理解する」 2) 事例検討、今後の目標づくり 講師及びコーディネーター 美作大学 教授 小坂田 稔 氏 [会 場] きらめきプラザ	職 員 2 人

⑤ 必要とする専門職の人材確保

事務局及び地域包括支援センター自主運営に向けた人材や、事業継続に必要とする専門職の確保を行うため、必要に応じて随時職員採用試験を実施し、人材確保に取り組みました。

所 属 等	正規職員	嘱託職員	臨時職員	パートタイム職員	計
事務局	1名		2名	1名	4名
介護保険事業所				13名	13名
地域包括支援センター	2名	2名			4名
合 計	3名	2名	2名	14名	21名

⑥ 市との人事交流

令和4年度より「赤磐市地域包括支援センター」業務の一部を受託したことに伴い、円滑な業務推進が図れるよう、赤磐市より赤磐市地域包括支援センターへ1名派遣を実施し、人事交流を行いました。

⑦ 実習生の受入

実 習 生	新見公立大学（3回生） 2名
実習期間	令和5年 6月14日～6月30日／7月11日～8月2日（1名受入） 7月14日～8月2日／8月7日～8月29日（1名受入） 実習時間 224時間
主な内容	社会福祉士養成課程における相談援助実習 ・各課（総務課、地域福祉課、生活支援課、介護保険課）におけるコミュニティ・ソーシャルワーク実習

（7）総合的人事管理

① 評価表に基づく人事考課制の運用

職員給与規程第15条の規定に基づき、正規職員を対象に人事評価を実施しました。

② 適切な人員配置の実施

本会『4課1センター』体制において、必要とする有資格者の配置や、業務の効率化や最適化を図るため、適切な人員配置の実施に努めました。（人事異動の実施：10月1日付／11月1日付）

③ 次世代育成にかかると一般事業主行動計画の推進及び次期計画の策定

次世代育成支援対策支援法及び女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画（第3次）」＜令和3年4月1日から令和6年3月31日迄＞の目標達成に向けて情報共有及び実態把握を行いました。

- ・ノー残業デーの実施（1週間に1回）
- ・年次有給休暇の取得推進（取得率：正規職員63％／臨時的雇用職員82％）
- ・女性の積極的な採用（採用数：嘱託職員1名、臨時職員2名、パートタイム職員6名）

また、第3次計画が終了することから、新たに令和6年4月1日より3か年を計画期間とした次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画（第4次）」並びに女性活躍推進法に基づく「一般事業主行動計画（第2次）」を策定致しました。

④ 安全衛生委員会の開催

月 日		主 な 協 議 事 項 等	
[安全衛生委員会]			
第1回	4月27日（木）	第7回	10月26日（木）
第2回	5月25日（木）	第8回	11月30日（木）
第3回	6月29日（木）	第9回	12月25日（月）
第4回	7月27日（木）	第10回	1月25日（木）
第5回	8月29日（火）	第11回	2月29日（木）
第6回	9月28日（木）	第12回	3月22日（金）
		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康管理、衛生等について ・季節特有の健康問題について 	

⑤ ストレスチェックの実施

職員のストレスの程度把握や、メンタルヘルス不調を防止することを目的として、ストレスチェックを実施しました。

結果については、本会産業医の確認を行ったうえ、和気労働基準監督署に報告しました。

⑥ 産業医健康相談の実施

月 日	主 な 協 議 事 項 等
[健康相談日]	
第 1回 4月14日 (金) 第 7回 10月13日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期健康診断の結果に対する指導 ・ 職員相談対応
第 2回 5月12日 (金) 第 8回 11月17日 (金)	
第 3回 6月 9日 (金) 第 9回 12月 8日 (金)	
第 4回 7月14日 (金) 第10回 1月12日 (金)	
第 5回 8月18日 (金) 第11回 2月 9日 (金)	
第 6回 9月 8日 (金) 第12回 3月 8日 (金)	

2. 財政運営の適正化

(1) 社協発展・強化計画の推進

重点事業

① 業務執行の近況及び収支状況の共有化

第3次社協発展・強化計画に基づき、計画的な予算管理及び予算を執行するため、四半期毎の執行状況及び前年度対比について情報共有を図りました。

② 進捗状況の管理、前年度決算結果に基づく振り返り

令和4年度決算額確定に伴い、第3次社協発展・強化計画目標値との比較・分析を行うとともに、上記において四半期毎の執行管理を行い、各課・センターにおいて決算見込を積算し、予算との対比を行ったうえ、必要に応じて補正対応を実施しました。

③ 「社協発展・強化計画」策定に関する情報交換会の開催

月 日	内 容	出席者数
6月27日 (火)	1) 赤磐市社会福祉協議会「社協発展・強化計画」策定について 2) 情報交換	新見市社協 3人 本会職員 3人

(2) 社協財源の確保

① 寄付金の受付

内 容	令和5年度		前年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
香典返し	61件	1,110,000円	66件	1,058,500円
一般寄附金	21件	613,089円	17件	335,138円
合 計	82件	1,723,089円	83件	1,393,638円

(3) 安定的・効果的な財務運営

① 事業の効率化・見直し等による事業費抑制及び有効活用

第3次社協発展・強化計画の数値や、事業の収支バランスに目を向けながら、限られた予算を有効に活用するため、事業効率を意識し経費の適切な執行に努めるとともに、事業費の抑制に取り組みました。

② 資金運用委員会の開催（積立資産等の適正な管理、効果的な運用）

本会資金運用規程第6条の規定により、正副会長会において資金運用委員会を開催し、資金運用計画商品及び運用先を協議しました。

月 日	協議内容	出席者数
5月29日（月）	資金運用状況及び運用計画	3名

③ 公費財源の確保

赤磐市と連携を図り、既存受託事業を継続するとともに、事業の必要性や理解を求めながら、令和6年度に向け、令和5年9月に赤磐市へ補助金及び受託金の予算要求を行いました。

（赤磐市との予算ヒアリング：第1次10月2日／第2次10月11日）

また、補助金や助成金等の情報収集に努め、積極的な活用に努めました。

④ 自主財源確保に向けた多様な寄付方法の調査研究

本会に対する寄付について、税制上の優遇措置（寄付金控除）対応を継続して行うとともに、気軽に日常の中で多様な寄付方法を検討していくため、他市町村社協の情報収集等、調査研究を行いました。

3. 広報啓発事業

(1) 広報啓発活動

① 広報紙「福祉のひろば」の発行

年6回（各17,250部）発行（偶数月）及び全戸配布

② ホームページ、Facebook等による福祉情報の発信

ホームページ及び即時性をもったFacebookを活用し、各課・センターにおいて実施する社協事業や地域における福祉活動等の情報発信を実施しました。

（更新内容）各種事業の紹介、助成事業の募集情報、社協広報紙「福祉のひろば（第110号～第115号）」の更新、求人情報、赤磐市社会福祉法人連絡会状況更新 他

③ マスコットキャラクターを活用した広報啓発

本会の認知度向上と、活動への理解をPRするため、マスコットキャラクターを活用し、広報紙やホームページ、Facebook等を通じて、地域の福祉活動の周知、情報発信、社協認知度の向上に努めました。

赤磐市社協マスコットキャラクター



(2) 広告掲載・斡旋事業

内 容		令和5年度		前年度	
		件 数	金 額	件 数	金 額
広告掲載	広 報 紙	12件	190,000円	11件	190,000円
バナー掲載	ホームページ	1件	10,000円	1件	10,000円
合 計		13件	200,000円	12件	200,000円

(3) 後援（協賛・共催）状況

後援等方法	内 容	実施期間／場所
名義後援	赤磐市ペタンク協会 ～ペタンクでまちづくり (令和5年度赤磐市市民活動実践モデル事業)～	令和5年4月10日（月）～ 令和6年3月31日（日）
名義後援	山陽ラテンバンド 第41回 山陽ラテン・チャリティーコンサート	令和5年5月21日（日） 赤磐市立高月公民館

後援等方法	内 容	実施期間／場所
名義後援	第7回きらぼし★アート展 赤磐市に在住する障害者の絵画・写真・造形・デザイン の作品の発表の機会をつくる	令和5年11月11日(土)～ 令和5年11月19日(日) 赤磐市桜が丘いきいき交流センター
名義後援	子どもの居場所づくり 「子どもが集える駄菓子屋さん こべべや」	令和6年1月13日(土)～ 令和6年3月23日(土) 赤磐市上市(申請者自宅)

4. 指定管理施設の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

指定管理

① 山陽総合福祉センター

<施設の維持管理>

- ・夜間警備
- ・館内・館外清掃
- ・清掃用具等(マット等)レンタル
- ・自動ドア保守点検
- ・消防設備点検
- ・エレベーター保守点検
- ・電気保安点検
- ・害虫駆除
- ・冷暖房保守点検
- ・産業廃棄物収集運搬処分
- ・特殊建築物定期報告
- ・館内ワックスがけ、窓ふき清掃

<施設修繕>

- ・1階一般浴室及び特浴室給湯配管漏水修繕
- ・避難誘導灯及び煙感知器取替修繕
- ・地階及び1階デイサービスセンター照明器具取替修繕
- ・1階男子トイレ小便器センサーフラッシュ取替修繕
- ・吸収冷温水機1号機溶液バイパス弁取替修繕 他

<避難訓練及び防火訓練>

- ・(協力業者)株式会社岩本、赤磐市消防本部 令和6年3月15日実施

<施設利用状況>

施設名	令和5年度		前年度	
	件数	延人数	件数	延人数
相談室	—	—	—	—
和室	7件	49人	2件	31人
小会議室	76件	296人	80件	303人
中会議室	43件	289人	77件	388人
大会議室	22件	177人	0件	0人
講座研修室	106件	1,387人	120件	1,582人
合計	254件	2,198人	279件	2,304人

② 赤坂福祉サービスセンター「春の家」

指定管理

<施設の維持管理>

- ・夜間警備
- ・館内清掃
- ・清掃及びマットレンタル等
- ・自動ドア保守点検
- ・消防設備点検
- ・電気保安点検
- ・害虫駆除
- ・フロン排出抑制法定点検
- ・ボイラー保守点検

<施設修繕>

- ・トイレ手洗い場配管部品取替修繕
- ・トイレ詰まり抜き修繕
- ・中庭軒天修繕
- ・浴室天窗漏水修繕 他

<避難訓練及び防火訓練>

- ・(協力業者)株式会社岩本 令和5年10月19日実施

③ 赤磐市山陽高齢者生きがいセンター

指定管理

<「木楽会」利用状況>

	令和5年度		前年度	
会員数	16人		18人	
月	活動日数	延べ人数	活動日数	延べ人数
4月	25日	45人	26日	68人
5月	25日	52人	26日	48人
6月	21日	42人	23日	49人
7月	27日	47人	26日	55人
8月	26日	45人	26日	61人
9月	24日	48人	25日	43人
10月	27日	64人	22日	45人
11月	25日	63人	12日	29人
12月	24日	71人	24日	48人
1月	23日	76人	24日	69人
2月	25日	75人	24日	64人
3月	27日	78人	23日	52人
合計	299日	706人	281日	631人
1日平均	—	2.4人	—	2.2人

<展示及び出店販売>

イベント活動

- ①あかいわ祭り 11月3日(金) 赤坂ファミリー公園多目的広場へ出品
- ②山陽地区高齢者生きがい作品展示会 1月27日(土)～28日(日)
山陽老人福祉センター(あかいわほほえみプラザ)で作品展示。

5. 山陽老人福祉センター「あかいわほほえみプラザ」の運営

市補助事業

(1) 施設(設備)の長期的で安定的な維持・管理・運営

① 施設、設備の維持管理

- ・設備点検等

<老人福祉センター>	<浴場泉源>
<ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備定期点検 ・自家用電気工作物保安管理 ・自動扉開閉装置保守点検 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ESP 水中ポンプシステム保守点検 ・温泉オーバーフロー排水中和装置保守点検 ・熱源機器、ろ過機器、空調機器他定期点検 等

② 泉源管理（泉源名：山陽足王乃湯）

・入浴施設「足王乃湯」入浴者数

内 容	令和5年度		前年度		
		1日平均		1日平均	
営 業 日	309日	—	306日	—	
入浴者数	市内60歳以上	5,783人	19人	5,112人	17人
	入浴回数券利用者	22,299人	72人	20,207人	66人
	市内障がい者	1,782人	6人	1,905人	6人
	市内中学生以上60歳未満	2,459人	8人	1,897人	12人
	市内小学生/市外小学生以下	415人	1人	406人	1人
	市外中学生以上	4,396人	14人	3,660人	6人
	「おかやま愛カード」提示者	1,713人	6人	1,092人	4人
	市内乳幼児（無料）	360人	1人	224人	1人
小 計	39,207人	128人	34,684人	113人	
「敬老の日」無料開放	中止		中止		
そ の 他	205人(内訳) 清掃ボランティア } 203人 イベント出演者 } 体調不良者援助 } 2人		181人(内訳) 清掃ボランティア } 155人 イベント出演者 } 停電時対応 } 25人 体調不良者援助 } 1人		
合 計	39,412人		34,865人		

③ 部屋利用者数（部会等の利用者）

内 容	令和5年度				前年度	
	会員数	活動日数	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
①部会活動						
ときめきフラ	15人	45日	551人	12人	426人	12人
あかいわ囲碁同好会	32人	20日	557人	28人	480人	24人
明日葉会(絵画)	12人	12日	111人	9人	109人	9人
しの笛び〜ひやら会	21人	18日	255人	14人	222人	12人
みのり荘囲碁部会	48人	22日	724人	33人	673人	31人
切り絵部会	5人	17日	90人	5人	81人	5人
民謡部会	—	—	—	—	5人	5人
彩の会(健康体操)	32人	9日	257人	29人	—	—
②健康講座・娯楽イベント	開催日数	24日	1,788人	75人	1,524人	31人
③優待・サロン等	開催日数	27日	1,840人	68人	1,453人	8人
④一般	利用日数	25日	337人	13人	317人	11人
⑤健康増進室	利用日数	309日	5,540人	18人	3,106人	10人
⑥その他の部屋利用	開館日数	309日	1,188人	4人	1,100人	4人
合 計			13,238人		9,496人	

④ 修繕計画に伴う修繕の実施

・令和6年度ESP水中ポンプシステム交換工事実施に向けて、予算折衝しましたが、赤磐市のヒアリングで見送りとなりました。

・修繕の更新

施設（設備）の長期的で安定的な維持・管理・運営を行うため、関係業者に連絡をとり、施設や設備等の修繕状況や修繕が必要な箇所を抽出・整理し、必要性及び緊急性を勘案しながら中長期的な施設整備計画（修繕計画）を更新しました。

・修繕の実施

＜老人福祉センター＞	＜浴場泉源＞
<ul style="list-style-type: none"> ・エアコン改修工事 (ふれあい広場・健康の間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・温水ヒーター真空部品取替修繕 ・電気設備更新工事 ・地下機械室排水管漏水修繕 ・露天・薬湯ろ過配管修繕 ・機械室配管支持材補強修繕 ・排水中和装置修繕 等

⑤ ボランティアによる環境美化

・赤磐市老人クラブ連合会山陽支部

月 日	内 容	参加者
5月11日(木)	山陽老人福祉センター周辺の清掃活動	25人
12月14日(木)		中止

⑥ 消防訓練

月 日	内 容	参加者
1月5日(金)	消火訓練(屋内消火栓)	5人
1月16日(火)	発見・通報訓練	3人
3月8日(金)	避難訓練(防火戸の訓練)	7人
3月12日(火)	図上訓練	5人

(2) 利用促進につながる効果的活用

① 事業情報の周知

- ・健康講座等イベント情報を本会「福祉のひろば」へ掲載、ホームページ(新着情報)及びFacebookでの情報発信
- ・赤磐市広報紙「広報あかいわ」イベント情報掲載
- ・施設パンフレットによる広報活動

(3) 各種講座・イベント等の開催及び充実

① 健康講座「ふれあい健康教室」の開催 ※事前予約制

＜講師：高見 博子氏(環太平洋大学 非常勤講師)＞ 会場：集会室1・2・3

月 日	内 容	参加者
第1回 4月25日(火)	タオルを使った背筋を伸ばす運動	29人
第2回 5月23日(火)	家庭でもできる転倒防止にまつわる運動	18人
第3回 6月27日(火)	膝に負担のかからない歩き方講座	18人
第4回 7月25日(火)	自宅でコツコツ毎日実践「貯金体操」	21人
第5回 8月22日(火)	タオルを使って四肢の可動域改善運動	26人
第6回 9月26日(火)	ゲームを通じてのふれあいTIME	20人
第7回 10月24日(火)	手足を動かして骨を強くしよう	25人
第8回 11月28日(火)	身近なものを使って楽しく体操を続けよう	21人
第9回 12月26日(火)	ダンスを通じてのふれあいTIME	37人
第10回 1月23日(火)	一生元気で過ごすために手足を動かし続けよう	21人
第11回 2月27日(火)	毎日の生活の中でできる筋力トレーニング 肩甲骨運動 お話ー脳内モルヒネ エンドルフィン	28人
第12回 3月26日(火)	手・足・口を使っての脳トレーニング お話ーやる気を出す ドーパミン	31人
合 計		295人

<環太平洋大学 学生企画による健康教室>

会場：集会室1・2・3

月 日	内 容	参加者
講師：伊藤三千雄氏、宮本 彩氏、体育学部学生		
第1回 7月 3日 (月)	高血圧に対する運動処方 ～運動は薬のように～	8人
第2回 7月 4日 (火)	元気ハツラツ！ 暑さに勝つ夏！	15人
第3回 7月10日 (月)	フレイル予防教室 いつまでもやりたいことができる人生を送りませんか？	17人
第1回 7月17日 (月)	心と体の健康づくり ～心と体を整え毎日心地よい生活を送ろう～	15人
第2回 7月18日 (火)	コケたらおえまあ ～転倒予防ででえれえ楽しいお散歩ライフ～	15人
合 計		70人

② イベント事業の実施

1) 自主活動グループ「足王乃湯」ハワイアンステージ

2か月に1度、第3土曜日 10:30～12:00

5月20日、7月15日、8月19日、11月18日、1月20日、3月16日 計6回実施

2) 老人福祉センター主催カラオケ発表会

令和5年4月23日 エントリー数 55人

令和5年9月10日 エントリー数 60人

令和6年3月31日 エントリー数 60人

3) そば打ち体験教室【新】

実施日	6/20	7/25	8/22	9/19	10/17	11/21	12/19	1/16	2/20	3/19
参加人数 (人)	4	2	3	4	4	4	4	4	4	4

③ 梅収穫祭 (ボランティア)

月 日	内 容	場 所	参加者数※
5月11日(木)	小梅ちぎり	山陽老人福祉センター梅園	清掃 25人
6月1日(木)	大梅ちぎり		袋詰 10人
合 計			35人

※赤磐市老人クラブ連合会 山陽支部ボランティア